

流行性感冒症豫防法研究機關設置ニ關タル建議案
委員長

今十六日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
貨幣法中改正法律案委員長

石川 玄三君 理事 山田 永俊君
委員長

牧山 耕藏君 理事 阿由葉 勝作君
賠償金特別會計法案委員長

太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ海原清平君ヲ、非役
壯丁稅法案委員本間三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシ
テ内藤濱治君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

副議長(柏谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○宮古啓三郎君 是ヨリ刑法中改正法律案ノ委員會ヲ
閉キタウゴザイマスカラ、許可ヲ願ヒマス

○副議長(柏谷義三君) 宣シウゴザイマス

○指田義雄君 是ヨリ關稅定率法中改正法律案、外五
件ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマスカラ御許ヲ願ヒマス

○副議長(柏谷義三君) 差支アリマセス

○指田義雄君 委員ノ諸君ハ、豫算委員室ニ御集リヲ願
ヒマス

○副議長(柏谷義三君) 日程第一、公有林野官行造林
法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス

第一 公有林野官行造林法案(政府提出)

第一讀會ノ續(報告)

報告書

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正九年七月十五日

公有林野官行造林法案委員長

中倉万次郎

(中倉万次郎君登壇、拍手起立)

衆議院議長奥繁三郎殿

○中倉万次郎君 公有林野官行造林法案ノ委員會ノ
經過、及結果ヲ御報告致シマス、此法案ハ一條ヨリ五條ア
終テ居リマシテ、極ク簡単ノ案ノヤウデアリマス、併ナガラ
此内容ニ就キマシテ、極ク簡單ニ一言申上げテ置クノ必要
ガアルカト思ヒマスカラ、本案ハ無立木ノ公
有林野、木ノ立テ居ナイ公有林野、即チ町村有ノ林野、ソ
レヲ國ト公共團體、即チ町村ノ約束ノ下ニ造林ヲ行フト云

フ案ニアリマス、此森林事業——造林ノ如キハ、政府ニ於テ
モ追々獎勵サレマシタ、段々ト進シテ居リマスルが、今日ニ於
キマシテモ其進捗甚ダ遅タシテ、未だ見ルベキモノガ無イ
ノデアリマス、テ之ヲ町村ニ委セテ置キマシテモ、町村ノ資力
薄弱ノ所ヨリ、此事業が進行シナイト云フ所カラ、國ト公
共團體ト約束ノ下ニ、國ヶ此造林ノ經費ヲ出シマシテ、公
團體即チ町村ハ其土地ヲ提供シテ、此造林ノ事業ヲ遂
行シタウス云フ案ニアリマス、唯今政府ニ於テ無立木
ノ段別ヲ調査致シテアリマス所ハ、約二百万町歩デアリマ
ス、其二百萬町歩ノ中、造林ヲ致シマシテ森林ニ適當スル
所ノ土地ト認メマスルモノガ、百万町歩アルノデアリマス、約
百万町歩ノ中三十五万町歩ハ、治水事業費ノ中デ、大正
十八年マデノ經營ニ於キマシテ完成ヲスルト云フ見込ガ
立テ居ル、之ヲ引去リマスト、殘ル所ガ六十五万町歩ノ木
ノ無イ所ノ公有林野ガアルノデアリマス、此六十五万町歩ノ木
ノシテ經營ヲサセルト云フコトニ致シテ、殘ル所ノ約五割即チ
中約五割ハ即チ公共團體——町村ノ事業ニ任シマシテ、督勵
ヲ行フデ此契約ハ國が先刻申上ゲマシタ通り造林ノ費用ヲ
投ジテ、公共團體ハ其土地ヲ提供致シマシテ、其土地ニ
掛ル所ノ公課ノ如キハ、此經營ノ年限中ハ皆十町村ガ負
擔スルト云フコトニ致シマシテ、雙方相俟テ此事業ヲ進メ
ル、サシウテ其事業ノ完成シ、又相當ノ年限ガ満チマシタ所
デ、其收益ヲ分收スルト云フヤウナ案ニアリマス、委員會ハ
三回開キマシテ、當局大臣及政府委員ノ出席ヲ求メマシテ
質問應答ガゴザイマシタ、此質問應答ニ係ル所ノ精細ハ速
或ル議員ヨリ、此森林ノ統一ト云フコトニ就テハ前議會ニ
於テモ希望ヲ述べ、當局者モ十分此統一ヲ圖ラナケレバナラ
ニ就テハ、ドノ點マデ進行シテ居ルカト云フヤウナ、即チ齊藤
宇一郎君ヨリ質問ガアリマシタ、當局大臣ニ於テモ、其統
一ヲ國ルト云フコトハ念頭ニ持テ居ルガ、未ダ今日マデ取
立テ、茲ニ報告スルダケノ調査ハ出來テ居ナイガ、是ヨリ追
御希望ニ副ウテ調査ヲ進メル積リデアルト云フヤウナ答
辯ガアリマシタ、ソレカラ北海道ノ森林、或ハ開拓事業ニ就
キマシテモ、北海道長官ノ出席ヲ求メバシテ質問シマシタ
ガ、是モ此北海道ノ開拓ト云フコトニ就キマシテ、此森林ノ
事業ト開拓ト事業ト未ダ一致シナイ點モ多々アレヤウニア
ルカラ、此點ニ就テモ十分今後ハ留意シテ、將來不都合ノ
ナイヤウニ整理ヲシテ貨ヒタイ、斯ウ云フ希望モアリマシタ、

他ニ反對ノ意見ナク、滿場一致テ本案ハ可決スペキモノト
決定致シマシタ、此段報告致シマス(拍手起立)

○副議長(柏谷義三君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異
議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長(柏谷義三君) 御異議ナイト認メマス

○岩崎勳君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省
略シテ、委員長報告ヲ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス
〔「贊成々々」ノ聲起ル〕

○副議長(柏谷義三君) 岩崎君ノ御發議ノ通り、直チニ
第二讀會ヲ開キマス

公有林野官行造林法案 第二讀會(確定議)

○副議長(柏谷義三君) 第三讀會ヲ省略シテ委員長報
告ノ通り可決確定スルニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長(柏谷義三君) 本案ハ確定セラレマシタ——日程
第二、朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案第一讀會ノ
續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス

第二 朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(報告)(確定議)

報告書

一 朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正九年七月十五日

朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案(政府提出)

律案委員長

衆議院議長奥繁三郎殿

(根本正君登壇、拍手起立)

○根本正君 朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案ノ
委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、本案ハ本年十月一日ヲ
以テ、帝國版圖内ニ於ケル國勢調査、即チ正確ニ人口ヲ調
査スル所ノ法律案ニアリマス、此朝鮮ノ人口ニ就キマシテ
モ、繼續費トシテ百三萬圓ノ豫算ガ出テ居リマス、然ルニ昨
年三月ノ騒擾ノ爲メニ、此國勢調査ヲスルコトガ出來ナイ
事情ガアリテ、即チ延期スルト云フ所ノ法律案ニアリマス、此

百三万圓ノ繼續費ヨリ、十六万圓餘ト云フモノガ大正七八年度ニ於テ使用スベキモノナシテ居リマスガ、既ニ使用

サレタノハ六万二千百八十九圓アリマス、其殘テ居ルモノハ九万八千六百三十四圓餘ニナシテ居ル、而シテ此調査

ガ出来ナイト云フ理由ハ、此調査ノ爲メニ十万人ノ調査員ヲ要スルノデアリマス、然ルニ市町村役場ノ人ヲスルニシテモ僅ニ五万人デアラテ、跡ノ五万人ト云フモノハ、此騒擾以

來朝鮮ノ事情ニ依テ、其調査員ヲ命ズルコトガ出来ナイト由ノ下ニ、此度ノ國勢調査ニハ入レズシテ延期スルト云フコトデアリマス、此事ニ説キマシテ、若シ帝國ノ人口ヲ外國ヨリ照會サレテ之ヲ答フル時分ニハ如何ニ答フルカト云フ所ノ質問モ出マシタ、政府委員ノ説明ニ依リマスルト、國勢調査ト云フ名前ノ下ニ調査ノ交渉ガアタ時分ニハ、十月一日ノ調査ヲ以テ答ヘルガ單ニ日本帝國ノ人口ヲ外國ルト云フコトニ就テ、例ヘバ政治年鑑ノ調其他ニ就テアタ時分ニハ、矢張今日朝鮮ニアル所ノ概略調査ガ出来テ居ル、其人口モ入レルト云フコトヲ質問致シマシタ所ガ、云フモノハドノ位アルカト云フコトヲ質問致シマシタ所ガ、千七百五十万人以上アル、其中デ内地ヨリ参テレテ居ル所ノ者ガ三十三万六千八百七十二人、朝鮮人ガ千六百六十九万七百十四人、外國人ガ二千三百有餘人アル、此段御報告致シマス（拍手起ル）

○岩崎動君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定サレントコトヲ望ミマス

○副議長（柏谷義三君） 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（柏谷義三君） 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（柏谷義三君） 御異議ハ無イト認マス、讀會ノ順序ヲ省略致シマシテ、直チニ委員長報告通り可決確定スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（柏谷義三君） 本案ハ可決確定サレマシタ、次ハ日程第三、北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス

第三 北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律

案（政府提出） 第一讀會ノ續（委員長）

報告書

一北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案（政府提出）
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十五日

北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案

委員長

中西六三郎

衆議院議長奥繁三郎殿

（小字ハ委員會修正）

○及軌道

北海道拓殖促進ノ爲必要アリト認ムル地方鐵道ニ

對シテハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ該鐵道營業開始ノ日ヨリ五年ヲ限リ北海道拓殖費ヨリ補助ヲ爲スコトヲ得

○副議長（柏谷義三君） 委員長中西六三郎君

〔中西六三郎君登壇、拍手起ル〕

○中西六三郎君 本案ノ委員會ニ於ケル審查ノ概要ヲ御報告申上ゲマス、本院ハ既ニ御承知ノ通リニ、北海道ニ

ホ應分ノ補助ヲ與ヘルト云フコトノ目的デアリマス、北海道ノ開拓ノ爲ニハ、國營ニ係ル本鐵道輕便鐵道、ソレノ計

畫サレテ居リマスレドモ、尙ホンレ以外ニ民營ニ係ル鐵道ニ依テ、開拓ノ促進ヲ圖ルコトが極メテ必要デゴザイマスカ

ト云フ正確ナル答辯ヲ得マシタ、是ハ事情已ムヲ得ズシテ、委員會ハ満場一致ヲ以テ政府案ノ通り可決致シマシタ、

斯ウ云フコトニナシテ居リマス、故ニ此内地ノ正確ナル人口

ニ合セマシテ、千七百有餘万人ノ人口ヲ入レテ外國ニ答ヘル

ト云フ正確ナル答辯ヲ得マシタ、是ハ事情已ムヲ得ズシテ、

委員會ハ満場一致ヲ以テ政府案ノ通り可決致シマシタ、

此段御報告致シマス（拍手起ル）

○岩崎動君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告

ノ通り可決確定サレントコトヲ望ミマス

○副議長（柏谷義三君） 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（柏谷義三君） 本件ハ無イト認マス、讀會ノ順序ヲ省略致シマシテ、直チニ委員長報告通り可決確定スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（柏谷義三君） 本件ハ可決確定サレマシタ、次ハ日程第三、北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案第一

讀會ノ續ヲ開キマス

正ノ意見ガ出マシタ、然ルニ政府ニ於テモ、固ヨリ其意味立案シタノデアルカラ、其修正ニナル上ニ於テ、何等異議ガ無キノミナラズ、疑ガアルト云フナラバ、明ニシテ置ク方ガ宜シト云フノデ同意ガアタノデアリマス、左様ノ次第テゴザ

イマスカラ、本案ハ御手許ニ廻テ居ラウト思ヒマスガ、「地方鐵道」ト云フ文字ノ後ニ「及軌道」ト云フ三字ヲ挿入スルト云フ修正ヲ加ヘマシテ、委員會ハ可決シタノデゴザイマズ、此段御報告ニ及ビマス（拍手起ル）

○副議長（柏谷義三君） 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヲ御諮詢致シマス
〔第一讀會ヲ開クニ異議ナシ」「異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（柏谷義三君） 第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎動君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（柏谷義三君） 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（柏谷義三君） 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（柏谷義三君） 別ニ御異議ガ無イヤウデゴザイマスカラ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマス、次ハ日程第四、帝國鐵道電力株式會社法案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス

第四 帝國鐵道電力株式會社法案（政府提出）

第二讀會（確定議）

○副議長（柏谷義三君） 別ニ御異議ガ無イヤウデゴザイ

マスカラ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマス、次ハ日程第四、帝國鐵道電力株式會社法案第一

讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス

○副議長（柏谷義三君） 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

一帝國鐵道電力株式會社法案（政府提出）

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十五日

第一讀會（確定議）

衆議院議長奥繁三郎殿

（小字及一ハ委員會修正）

帝國鐵道電力株式會社法案（政府提出）

第十五條 會社ハ毎營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益カ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ

對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ、政府所有ノ株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セス
配當シ得ヘキ利益カ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合カ年一割ニ達スル迄政府所有ノ株式及政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ

拂込金額ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ其ノ超過額ヲ配當スルトキハ、政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合カ年一割ニ達スル迄

政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合ハ年一割ヲ超過スルコトヲ得ス

總株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合カ年一割ヲ超過スル場合ニ於テハ總株式ノ拂込金額ニ對シ均一ノ割合ヲ以テ其ノ超過額ヲ配當ス

第十六條 會社ハ毎營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益カ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對シ年五分ノ割合ニ達セサルトキハ、設立登記ノ日ヨリ五年ヲ限リ、政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對シ年五分ノ割合ニ達スル迄利益ヲ配當スルコトヲ得

○副議長(柏谷義三君) 川原茂輔君

〔川原茂輔君登壇拍手起ル〕
○川原茂輔君 帝國鐵道電力株式會社法案ノ委員會ノ經過結果ヲ御報告致シマス、本案ニ對シテハ、去日當局大臣ヨリ此席ニ於テ簡單ナル御説明ガアタノアリマス、所ノ大要、並ニ委員會ノ賛否ノ大要ヲ御報告致シタイト
存ジマス、政府ノ説明スル所ニ依リマスベ、我國ノ勞金及勞力ノ價格ハ比較的低廉アル故ニ、此二問題ニ對スル所ノ研究モ自然急、テ居リマシタガ、歐洲ノ戰亂以來俄ニ鐵道及工業其他ノ事業が勃發致シテ、動力ノ必要ガ益々増シタルニ至シ、而シテ石炭ハ限リアルモノデアル、無限ノ事業船舶等ニ於テ、獨リ此石炭ニ向テ動力ヲ仰グト云

利ハ三百四十哩、而シテ我が日本ハ僅ニ五十八哩、其五米合衆國ニ於テハ四千八百七十五哩、獨逸ハ二百三十哩、英吉利ハ二百七哩、佛蘭西ハ三百八十四哩、伊太利ハ三百四十哩、而シテ我が日本ハ僅ニ五十八哩、其五

十八哩——其五十八哩ハ、東京櫻木町間ガ十九哩餘、東京吉祥寺間ガ十四哩、上野田端間ガ二哩餘、品川田端間

十二哩餘、池袋赤羽間ガ三哩餘、横川輕井澤間ガ六哩餘、是ダケデアル、前ニ申上げマシタ理由ニ依テ、一日モ早ク動

力ヲ電化ニ仰ギタイト云フ理由ヨリシテ、此法案ヲ提出シタル由以デアル、而シテ此法案ノ内容ハ、御承知ノ通り、資本金ヲ一億圓トシテ、半官半民——政府ガ五千万圓ヲ持

チ、五千萬圓ハ民間ノ資本ヲ以テ之ニ充當スル、而シテ發電所ハ新潟縣ノ中魚沼郡外九村附近ニ取入口ヲ設ケ、此處ニ於テ發電ヲシテ、其得タル所ノ動力ハ凡ソ十二万基

「ワット」、而シテ大正十五年マニ東京沼津間ノ百十五哩

餘、大船横須賀間ノ十哩、東京八王子間ノ二十九哩餘、神田大宮間ノ十八哩餘、品川田端間ノ十二哩餘、池袋赤羽間ノ三哩餘、横川輕井澤間ノ六哩餘、神田千葉間ノ二十三哩餘、高崎長岡間ノ九十五哩餘、尙ホ東神奈川ヨリ八王子間ノ二十六哩餘、八王子甲府間ノ五十三哩餘、日暮里我孫子間ノ十九哩餘、大宮横川間ノ六十四哩餘、總計四百八十餘哩ニ動力ヲ此電化ニ仰グト云フコトデアリマス、斯ノ如キ理由ニ依テ發案セラレマシテ、委員會ヲ三回開キマス間ニ於テ、其外種々ナテ回答ガアッタノアリマス、而シテ一修正ガ御手許ニ配付シテアリマス通り、原案ニ於テハ五ヶ年間年五分ノ配當ノ保證ガアリマスガ、今日ノ財界ノ有様ヨリ觀察レバ、年五分ノ補助ヲ以テ、果シテ五千万圓ノ民間ノ株式ヲ募集スルコトガ出來ルデアラウカ、甚ダドウモ此財界ヲ考ヘテ見レバ、果シテ應募者が十分デアラウト

云フ意味ヨリ、此五分ヲ六分トシ、又原案ノ六分トアルノヲ即チ七分ニ改メ、所謂一分宛增加シト上云フコトハ、要スルニ此財界ノ現狀ニ顧ミテ此修正ヲ提出スル上云フ意味デアリマス採決ノ結果過半數ノ同意者ヲ以テ、此修正案が成立ヲシタノアリマス、然ルニ反對論トシテハ、電化動力ト云フコトニ於テハ、是ハ世界ノ趨勢アリ、我國ノ現狀ニ於テモ寧ロ急ヲ告ゲナケレバナラヌ、何人ト雖モ此電化動力ノ問題ニ就テハ異論ハ無イデアル、併ナガラ斯ル必要ナモノナラバ、民間ノ資力ヲ吸收セズシテ、政府自ラ何故ヤラナル所ノ研究ヲ要スベキ事ナリトシテ、種々ナル調査ヲ

通リ、演壇ノ昇降ハ御不自由ノコトテゴザイマスカラ、特ニ高木君ニ限リマシテ、少數意見ニ續イテ同君ノ御意見ヲ茲ニ御述ニナルコトヲ許シタイト考ヘマスガ、差支ゴザイマセス

○副議長(柏谷義三君) 高木君

〔高木正年君登壇拍手起ル〕
○高木正年君 登壇致シテ宣シウゴザイマス

○副議長(柏谷義三君)

〔高木正年君登壇拍手起ル〕
○副議長(柏谷義三君) 宜シウゴザイマス

○副議長(柏谷義三君)

底シタイト云フノガ吾ニ趣意アリマス、第二ハ既ニ斯ル
希望ノ下ニ此問題ヲ論議スルニ就テハ、僅ニ五千万圓——
一億万圓ノ半額トスレバ五千万圓、此事業ガ七千五百萬
圓テ果タセルトスレバ三千七百五十万圓、斯ル金額ヲ故ラ
ニ民間ニ要セストモ、帝國鐵道特別會計ノ負擔ニ於テ之ヲ
成上ケルコソ却テ便宜アル、第三ニハ既ニ斯ノ如ク考フル
以上ハデス、最モ我國ニ於テ弊害多シト做ス所ノ半官半民
ノ會社ヲ故ラニ茲ニ現出シテ、種ニナル是マデ半官半民ノ
會社ニ見ツ、アル所ノ弊害ヲ再ヒ現出セシムルガ如キハ、決
シテ帝國ノ政治ノ方針トシテ、斯ノ如キ事ハ爲スベカラザル
コトデアルト云フ、此三箇ノ論點ニ就テ私ハ申スノデアリマ
ス、先ツ鐵道電化ノ事ニ就テ、自分ノ趣旨ノ在ル所ヲ申シ
タナラバ、獨リ私共ハ今日國有鐵道ノ上ニ就テノミ之ヲ考
フルノデハナイノデアル、既ニ石炭ノ時代が過去リ、今後ニ
於テハ水力ト石油、其石油ナルモノ、壽命モ、何時マテ續ク
カ判ラヌノアリマス、最モ永久ニ涉テ盡キガルモノハ何カ
ト言ヘバ、殊ニ我國ハ火山國トシテ最モ豐富ナル所ノ流水
ナルモノガ、永遠ニ我が國民ノ生活ノ上ニ幸スベキモノニア
リマス、斯ノ如キ重大ナル所ノ重要ノ關係ノ有ル、謂ハバ單
ニ鐵道ト云ハズ、總テノ上ニ涉テ我國民ノ生活ノ上ニ幸
スキ此水力ヲ、緩漫ニ今日マテ何等ノ方針ヲモ定メズシ
テ、徒ラニ民間ノ事業ニ委シテ而モ統一セシムテ却テ數箇
ノ會社ニ分裂シテ、多クノ費用ヲ此間ニ徒費シアルガ如キ、
決シテ策トシテ採ルベキモノナイト云フ考ヲ持テ居ルノデ
アリマス、故ニ此際ニ於テ、是非此國道電力ノ趣旨ヲ徹底
サセタイ、若シ然ラザルニ於テハ、他日石炭ガ盡キ、他ノ動力
ニ代ヘザルヲ得ザル時代ニ至ダナラバ、此動力獨占ノ結果
國民生活ノ上ニ脅威ヲ加ヘラレルコトニナリマスカラ、決シ
テ一日モ此問題ハ躊躇スルコトノ出來ナイ問題アルト、
斯様ニ考フルノデアリマス、ソレ故ニ遲藤ナガラ爲スハ爲サザ
ルニ優ルト云フ言葉ノ如ク、今日ニ於テ此鐵道省ガ此問題
ニ著手セラレタノハ、吾ニハ善意ヲ以テ之ヲ迎ヘルノデアリ
マス、併ナガラ既ニ此問題ハ國民生活ノ上ニ重大ノ關係ガ
有ツテ、國ガ之ヲ統一的ニ支配セネバナラヌ時代ニ在リト考
ヘタナラバ、曷ソ瑣々タル金額ヲ民間ニ要求シテ、態ニ從來
ニモ弊害多シト做ス所ノ、半官半民ノ會社ノシテ之ヲ爲サ
シムルト云フカ如キハ、決シテ政治上ニ於テ採ルベキ事デナ
争才時トシテハ、黨派ノ争トナルガ如キ、黨派ノ獨占ナルガ
如キ現象ヲ生ジテ居ルガ如キ事ニ就テ、深クノ私ハ慨歎
此觀察ヲ怠ツテ居ル、就中今ノ政府ニ於テ、近來水利権ノ
争才時トシテハ、黨派ノ争トナルガ如キ、黨派ノ獨占ナルガ
如キ現象ヲ生ジテ居ルガ如キ事ニ就テ、深クノ私ハ慨歎

道ノ線路ニ沿ウタル部分ニ於テハ、多クノ水力電氣ヲ生ズ
ベキ所ノ箇處ヲ發見シツ、アッタノデアリマス、現ニ今少シク
早カタナラバ、越幾ニ於ケル此水力發電所ノ設置スペキ場
處ニ就テモ、今日政府が求メツ、アル所ヨリ、遙ニ有利ナル
所ヲ發見スペキ筈ニアタノデアリマス、而モ是等ノ事ハ政
府ニ於テ調査シナイカト云ヘバ、疾ニ、遞信省ニ於テ、先
年最尤具體的ニ調上ツテ居ツダノデアル、所ガ徒ラン是等ハ
競争者ノ手ニ委シテ、今日運馳ニ計畫スルコトニナツタ、果
シテ此鐵道省ガ計畫シタル此越後ノ水力發電所ガ、能ク
電力ヲ得ルヤ否ヤト云フコトハ、確カニ今日ノ問題アル、併
ナガラ責任有ル所ノ政府、責任有ル所ノ技術上ノ調ニ依ツ
テ之ヲ爲シ得ルトシタナラバ、決シテ吾々ハ之ニ反對シナイ
ノデアリマス、唯ダ其成績如何ニ依テハ、政府ガ果シテ責
任ヲ得シ得タカドウカヲ、將來ニ是ヲ之ント思フノデアリマ
ス、私ハ半官半民ノ會社ガ、如何ニ弊害多キカト云フコトヲ
是ヨリ申シテ見マセウ、先づ其前ニ於テ、此會社ハ如何ナル
ノデアリマス、唯ダ其成績如何ニ依テハ、政府ガ果シテ責
任ヲ得シ得タカドウカヲ、將來ニ是ヲ之ント思フノデアリマ
ス、私ハ半官半民ノ會社ガ、如何ニ弊害多キカト云フコトヲ
御熟讀ニナツタデアリマセウ、其初二ニ於テハ、會社ノ株金ハ豫
定ノ一億圓ノ半額ノ其十分ノ一マデ、之ガ金額ヲ集メル場
合ニ下ツテモ宜イト委フ條件ガアル、而シテ其金額ニ對シテ
性質ニナツテ居ルカト云フコトハ、法案ニ就テ諸君ハ定メシ
箇年間ハ配當セシメル、更ニ此會社ガ六朱ノ配當ヲ得ザル
間ハ、政府ノ持株ニ對シテ配當ヲシナイ、斯様ナ條件ニナツ
テ居ル、六朱カラ一割ニ達スル間ニ於テ、六朱以上ノ利益
ヲ得レバ、二ト一トノ割合ヲ以テ民間株主ニハ二ヲ配當シ、
政府持株ニ對シテハ一ヲ配當スル、斯ノ如キ多クノ利益ヲ
株主ニ與ヘルト云フ條件ニナツテ居リマス、且ツ此會社ノ成
立ニ就テハ、必ズヤ問題ノ起ルコトガアル、ソレハ政府ノ提
供スペキ物件、即チ現在政府方電力ヲ起シツ、アル所ノ敷
地、及器具、機械、建物、其他有ユル政府ノ提供スペキモ
ノ——金額ニ依ラズシテ、物件ニ依テ提供スペキ所ノモノハ
其物件ノ價格ヲ如何ニ見積ルカト云フコト、是ガ問題デア
リマス、昨日政府ニ問ヒマスレバ、政府ノ言ニハ、何レ創立
委員ガ出來タラバ、副立委員ガ此價格ヲ評定スルデアラ
ウ——成程會社ノ爲メニ、會社ノ創立委員ガ此價格ヲ政
府ト折衝シテ定メルト云フコトハ、極メテ會社ノ便利デアリ
マス、併ナガラ國ノ方カラ見マスルト、餘リ是ハ會社本位ニ、
官有財產ヲ是等ノ發起人ノ意見ノ儘ニ協定スル、勿論政
府モ著イテ居ルデアリマセウ、併ナガラ此會社ノ條件ノ上カ
ラ考ヘテ見ルト、政府ハ民間ノ資金ヲ吸收センガ爲メニ、有
ユル保護ノ方法ヲ講ジテ居ル、此事ハ甚ダ政府ノ説明ノ意
思ト相反スルト私ハ思フノデアル、政府ハドウ云フコトヲ言
テ居ルカ、政府ダケデハ何分資金ヲ吸收スルノニ窮厄ヲスル

ノデアル、其故ニ民間ノ資金ヲ利用スルノデアル、成程民間ノ資金ヲ利用スル爲メニ、資金ヲ吸收スベク色トナル保護ヲ與ヘテ居ルニハ相違ナシ、併ナガラ是モ程度ガアルノデ、今申上ダタ通り五朱ノ利子ヲ五箇年間配當ヲサセテ、六朱ニナラナケレバ、政府ノ持株ニ配當シナイ——持株ニ配當シナイト云フガ、之ニ就テ考へ來リマスレバ、斯様ナ結果ヲ生ズルノデアル、此會社ノ配當ハドウ云フ所カラ來ルカト云フト、過日政府委員ノ言フ所ヲ聽キマスルト、電一八「キロワット」一錢七厘五毛ニ賣ルノデアル、一錢七厘五毛ニ數ヘテ總テノ計算ヲ立ッテ居ル、而シテ一錢七厘五毛ハ此株金ニ對シテ、ドレダケノ歩合ノ配當ヲ爲スベキ豫定デアルト申シマシタス、大約九朱ノ配當ヲ爲スペクシテ、一錢七厘ノ計算ガ出來テ來ル、一錢七厘ノ計算ノ中ニハ、政府カラ貸シタモノハ、是マデハ政府ノ——唯今矢口ノ發電所ノ器具ノ如ク、建物ノ如ク、建設費ノ外ニハ俸給ト、要スル所ノ石炭ノ費用、其他ノ消耗品ヲ加ヘレバ、電力ノ利用ガ出來タ所ガ、今まで政府ノ物デモ之ニ對シテ電力「一キロワット」ニ付テ、一錢七厘五毛ノ金ヲ拂ハネバナラヌ、政府ノ出シタモノハ配當ヲ受ケナクテモ即チ是ダケノ株金トシテ出シタル、其物權ヨリ生スル所ノモノヲ、矢張此株主ニ提供シナケレバナラヌ、政府トシテハ此位不利益ナ條件ハナイノデアリマス、配當ヲ受ケナイノハマダシモデアルガ、配當ヲ受ケナイ上ニ、今マデ爲サザリシ所ノ自分ノ提供シタ株ニ對シテ、相當ノ歩合ノ付タクダケノ電力ノ供給料ヲ拂フ、而モソレガ六朱以上ニ達シナイトキハ、株主ダケガ取テ政府ガ少シモ取ラヌ、一割マニ日本ノ經濟界ガ困難テアシテモ、帝國鐵道特別會計ヶ如何ニ其基礎ガ十分デナイトシテモ、政府ノ信用ヲ以テ其資金ヲ集メル以上ハ、決シテ其初メニ五百萬圓位ノ金ノ集メ得ラレスト云フコトハ無イ筈デアリマス、斯様ニ考へ來リマスレバ、此會社ナルモノハ決シテ是ガ成立ヲ見ズトモ、政府ノ信用如何、謂ハバ政府ノ信用次第、政府ノ決心デハ、此事業ト云フモノハ益成成功シ得ラル、譯ナル、殊ニ茲ニ驚クノハ此法案、即チ原案ニアル保護ノ方ダケデモ、十分ナリト考ヘルニ拘ラズ、政友會ノ御提出ニナックト修正案ヲ讀ンデ見マスト、五朱ノ利益配當ト云フコトヲ六朱ニ五箇年間ハ直シ、更ニ此會社ノ株ガ六朱以上ニナラザレバ、政府ノ持株ニ配當ノナイト云フコトヲ、七朱以上ニナラザレバ、配當ヲシナイト云フコトニ修正ヲスルト云フコトニアリマス、是マデニ此會社ノ株ヲ保護シナケレバ、此會社ノ成立ガ出來ナイトマデ考ヘラル、政府ガ、之ニ同意

シタリトセバ、政府ノ決意ト云フモノハ、甚ダ疑ハサルヲ得ヌ
ノデアリマス（拍手起ル）要スルニ政府ハ此修正案ニ賛成
スル以上ハ、尙ホ今日ニ於テモ徒ラニ投機熱ヲ煽ダテ、此會
社ノ成立ヲ求メルト云フノ結論ガ生ズルニ對シテ、何等之
ニ對シテ、然ラザルト云フ所ノ反駁ヲ爲スヘキ理由ヲ見ナイ
ト私ハ思フノデアリマス、如何ニモ修正案ノ不條理ナルコト
クベカラザルモノナリト、私ハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、
原案其物ガ元來吾ニハ同情スルコトノ出來ナイミナラ
ズ、更ニ修正案ニ取テハ、徹頭徹尾、吾ニハ此案ヲ以テ、我
國ノ將來ニ於テ電力ノ國有ヲ成立タスベキ基礎ノ上ニ置
ケカラザルモノナリト、私ハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、
（拍手起ル）尙ホ考ヘテ見マスルト、鐵道ヲ電化スルノハ、獨
リ唯今委員長ノ申サレタ五百哩以内ノ鐵道ニ過ギナイ、石
炭ノ無イ時代ガ來ル、ドウシテモ電力ニ待タネバナラスト云
ヘバ、幸ニ我國ニハ水力ガ多イノデアリマス——多イノデア
リマスカラ、全國ノ鐵道沿線ニ若シ水力供給ノ場所ガアッ
タナラバ、政府ハ己レノ有テル所ノ力ニ依テ、飽マデ是ガ供
給ノ途ヲ開クノガ宜イノデアルガ、左様ナ場合ニ於テ、若シ
此會社ガアッテ、此會社ニ依ラザレバ電力ノ供給ガ出來ナ
イト云フガ如キ、或ハ今日以後ニ於テ左様ナ一ツノ弊害ヲ
生ズルナシトシナインデアリマス、斯様ニ考ヘ來リマスレバ、
電力國有ノ場合ニ於テ、單ニ鐵道ガ其運轉ヲ電化スル場
合ニ於テモ、此會社ノアルコトハ、却テ鐵道其物ノ發達ノ上
ニ、電力供給ノ其上ニ於テ、必ずヤ將來ニ於ケル政治上足
手纏トニテコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カナル事實デアルト私
ガ爲メニ此會社ノ設立ヲ見ルト云フ上ニ就テハ、絶對ニ國
民ハ之ニ反對ヲスベキモノト考ヘタ爲メニ、此壇ニ立テ殊
ニ此說ヲ主張スルノデアリマス（拍手起ル）
○副議長（粕谷義三君）續イテ御通告順ニ依リマシテ、
發言ヲ許可致シマス——中島鵬六君
〔中島鵬六君登壇 拍手起ル〕

ハ此法案ニ依リマシテ、會社組織ヲ以テ、先づ以テ此電化事業ノホシニ小部分アハアルケレドモ、之ヲ具體的ニ現シテヤルト云フノデゴザリマスルカラ、此點ニ於テハ、何人モ是ハ御異議ノ無イコト、考ヘルノデゴザイマス(「ヒヤー」ト呼ブ者アリ)此點ニ就キマシテハ今ノ少數意見ヲ述ベラレタル所ノ、高木君モ御賛成ノヤウデゴザリマスル、サウシテ見レバ、是ハ此大主義ニハ——根本タル主義ニ於テハ、何人モ異議ハ無イノデアル、唯タ之ヲ非難スル者ニ至リテハ、其方法ニ就テ多少ノ非難ガアルノデゴザイマス、諸君、此方法ト申シマシテモソレカ絶對惡イト決タ方法ナラバ、是ハ反對スルモノ、ソレハ仕方ナナイノデアル、併ナガラ此點ハ大ニ考ヲ要シリニ斯ウ云フ時期ニ到達シテ居ナガラ、斯様ナル半官半民ノ會社ニ依テヤルコトハ怪シカラスト仰セラレル、是ハ一應バ、先づ此動力ノ電化ト云フモノニハ賛成致スガ、併ナガラ此際ニ於テ、電力ヲ統一シテ國家事業ニシタインデアル、然ナケレバナリマセヌ、唯今ノ少數意見ノ反對意見ニ依リマスルト、思切タル所ノ反對ガ何モ無イ、其箇條カラ言ヒマスレバ、先づ此動力ノ電化ト云フモノニハ賛成致スガ、併ナガラ御尤デアリマス、若シ事情ニシテ容スナラバ、動力全部ヲ國家事業トスル事ニ就テハ、吾々モ反對ハ無イノデアリマス、併ナガラ此點ニ就テハ委員會ニ於テモ當局ヨリ屢々、説明ノアリマシタ通り、今日ハ未ダ其時機ニ到達シテ居リマセヌ、最善電化動力ト云フ大主義ニハ賛成デアルト云フナラバ、最善ヲ得ザレバ次善ヲ求ムルノハ當前ノ話デアル、決シテ此點ニ於テハ自分達ノ言タコトガ、一言半句デモ其通り通ラヌカラ善イ事デハアルケレドモ、之ニ反對シナケレバ、ナラスト云フ議論ハ通ラヌト思フノデアリマス、(拍手スル者アリ)次ニハ此會社資本金ガ一億万圓デアル、併ナガラ當局ノ説明ニ依レバ、其一億万圓中大正十五年マニニ使フ金ハ七千五百万圓デアル、果シテ然ラバ、其半額ハ三千七百二十五万圓ニシカナラナインデアル、其位ノ事ヲ此専大ナル會計ヲ有スル所ノ鐵道省デ捻出スルコトガ出來ヌカ、若シ是ガ適當デアリ、是ガ國策ナルナラバ、斯様ナル微細ナル金ニ就テ、大ナル豫算ヲ出シテ、其上ニ三千七百萬圓——百尺竿頭一步ヲ進メテノ三千七百萬圓デアリマス、此意味ニ於テ三千七百万圓ハ金額ハ小ナリト雖モ、是ガ捻出ノ方法ニ至ラハ延長モシナケレバナラヌ、改善モシナケレバナラヌ、色ニ厖テハ大ニ難イノデアリマス、此時ニ際シテ此忙シイ事業ニ就

シテ不可デナイト考ヘルノデアリマス、「ヒヤー」ト呼フ者アリソレカラ第三ノ反対ノ理由トシテ、半官半民ハ兎角弊害カ伴フト云フ御説デアリマシタ、諸君、半官半民モ若シ之ヲ反対スル人々カラ言ハシメタナラバ、之ヲ官營トシタナラバ、官營獨占ハ怪シカラヌト仰シヤル人モアル、又之ヲ民業ニ依リ非常ニ能ク出来テモ、民業ノ營業事業デハ困ルト云フ人モアル、其時ニ際シマシテ、一面ニ於テハ資本ガ足ラザル關係ガアリ、又一面ニ於テハ之ヲ半官半民ニスルト云フコトハ、公平ナル處置デアリマスカラ、是ハ決シテ惡クナイ、若シ之ヲ半官半民ノ制度ニシテ、今日マデニ惡イ事アリトシタナラバ、ソレハ制定ノ弊害ニ非ズシテ、運用ノ拙ナルノ致ス所デアリマス、果シテ然ラバ半官半民ト云フコトニ對シテモ、決シテは反対ノ理由ニハナラナイト思フノデアリマス、ソレカラ又次ニハ此優先配當ノ歩合ガ六步デアル、修正案ニ從ヘバ七分デアル、若シモ此鐵道省が七分マデモ政府以外ノ株式所有者ニ對シテ配當ガ出來ナイ時分ニハ、政府ハソレニ就テ少カラザル所ノ損害ヲ受ケル、政府ハ資本ヲ提供シナガラ無配當デアルト、斯ウ仰セラル、ノデアリマス、併ナガラ是ハ數字ニ明ルイ所ノ高木君ノ御説トモ思ヘヌノデアリマス、如何トナレバ委員會ニ於テ當局大臣ノ御説明ニ依レバ、今鐵道省ニ於テ使ツテ居ル所ノ電氣「キロワット」三付テ、東京電燈ヨリ買ツテ居ルノガ二錢八厘五毛、市電カラ買ツテ居ルノガ最高二錢八厘、最低二錢五厘デアリマス、鬼怒川カラ買ツテ居ルモノガ一錢八厘デアリマス、更ニ若シ間ニ合ハナクテ火力ヲ用キルナラバ、十一錢ヨリ十二錢ヲ支拂テ居リマス、サウシテ見レバ無配當トスルモ、鐵道省ハ一錢七厘五毛ト云フ電力ヲ使ヒ得ルノハ、是ハ國家ニ取フテ大ナル利益ト考ヘマス、斯様ナ點カラ考ヘマシタナラバ、高木君ノ反對ノ御意見モ大シタ論據ノ無イモノデアル、寧口此際ニ於テハ動力電化ノ大方針ニ從テ、當會社ノ如キモノを作リ、動力電化ノ第一歩ヲ早メルト云フコトハ宜カラウト思ヒマスカラ、電道ハ、追々ハ悉ク電氣デ以テ動カスヤニスル方針デアル此點デアリマス、電氣ハ石炭ト違ツテ、買溜ヲスルコトガ出來ニ、帝國鐵道ハ元々之ヲ國有ニセラレタル所ノ精神ハ、國有防ト云フ點ニ重キヲ措イテ之ヲ國有ニ致シタノデアリマス、

若シモ此會社ガ政府ト獨立ノ系統ニ依テ管理サレテ、一朝事有ル場合ニ、政府ノ意思ガ恣ニ電氣ヲ起スコトヲ肯ジナカタナラバ、ドウシタモノニアリマセウカ、即チ本案ハ政府ノヤカマシク言フ所ノ、帝國ノ國防ヲ害スル所ノ案デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、「ノウ」、「謹聽」問題ニナラヌゾ「ト呼フ者アリ」然ラバ、政府ハ此點ヲ眼中ニ措カナカタコト云フニ、政府自身モ是ハ矢張心配シテ居ラル、ノデアリマス、政府自身モ此事ハ考ヘテ居ルニ相違ナイ、此證據ハ法律第八條デアリマス、「法律八條カ」ト呼フ者アリ)法律第八條ニ(笑聲起ル)政府公共團體、帝國臣民又ハ帝國ノ法令ニ依リ設立シタル法人ニ非ザレバ、此林主トハナレヌト云フ規則デアリマス、即チ帝國臣民カ、日本ノ法律ニ依テ成立シタル法人ニ非ズンバ、株主トハナレヌト云フコトニアリマス、即チ政府ハ之ヲ知テ矢張此會社ヲ作シテ居ルコトハ明瞭デアリマス、所ガ帝國ノ法律ニ依テ成立シタル法人ト云ヘバ、二人ノ外國人ガヤシテ來テ、日本ノ商法ニ從シテ合名會社ヲ作レバ、即チ曰水ノ法人デアルノデアリマス、是ハ頭隱シテ尻隱ニシテ居ルト云フ證據、知シテ以テ此案ヲ作シテ居ルト云フ、諸君ガ最モ非常ニ恐レラル、所ノ「レン」「トロッキ」ガヤシテ來テ合名會社ヲ作シテモ、株券ハ持テルノデアリマス(「脱線」ト呼フ者アリ)是ガ即チ政府ガ危険ナルコトヲ知シテ此案ヲ作シテ居ルト云フ證據、知シテ以テアル、策略ウ在ル所ニハ疑ヲ生ズルノデアリマス、疑團ヲ生ズルノデアリマス、果セル哉此案ニ就テハ、委員會ニ於テ多數ノ疑ヲ持ツテ居ル者ガアル、是ハ政友會ノ策デハナイカト云フ疑ヲ持ツテ居ル者ガアルノデアリマス、「ノウ」、「ト呼フ者アリ」拍手、果セル哉委員會ノ中ニ段々進シテ來ルト云フ、政府ノ方ニ補償ハ六朱ノ配當ヲ補償スレバ宜イト云フ案デアルニ拘ラズ、政友會ノ方ガ七朱ヲ補償シテヤレト云フ案ガ出マシタ、「拍手」是ニ於テ吾ミハ其疑ヲヒヨットスルト云フト有ル疑デハナイカ、火ノ無イ所ニ煙ハ立タヌト云フ案デハナイカト云フ精神ヲ持ツノデアリマス、「拍手」先ソ此疑ヲ霽ラシテ掛ラナイト云フト、本案ニヘ迎モ賛成ハ出來ナイト吾吾同僚ハ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此會社組織ノ根本營ムベキ製鐵事業トカ、或ハ鹽ヲ製造スル事業トカ、砂糖會社トカ、是ナドハ別デアリマスガ、斯ノ如キ公共ノ事業ヲ半官半民ト云フ組織ヲ取ルベキコトハ、甚ダ疑フベキ事デアル、從來ノ經驗ニ於テ惡シキ經驗ヲ吾ミハ嘗メタルノミナラニ對シテハ、高木君モ論究サレタ通ニ、吾ミハ二ツノ理由ニ於テ反對致スノデアリマス、一ツハ此半官半民ト云フ組織ニアリマス、斯ノ如キ公共ノ事ニ就テハ、元ニ私人トシテ半官半民ト云フ組織ヲ取ルベキコトハ、甚ダ疑フベキ事デアル、從來ノ經驗ニ於テ惡シキ經驗ヲ吾ミハ嘗メタルノミナラニ對シテハ、高木君モ論究サレタ通ニ、吾ミハ二ツノ理由ニ於テ反對致スノデアリマス、斯ノ如キモノヲ國營トスル精神ニ、到底成功ノ見込ハナイ、斯ノ如キモノヲ國營トスル精神

ハ、是レ元ニ利益ヨリモ稅制管理ニ重キフ措ク民業ト云フ精神ハ、是ハ利益ニ重キフ措クノデアリマス、利益ト統制ト云フ相容レザルニツノ方面ヲ調和スルコトハ逆モ出來ヌ、此會社ハ若シモ半官半民デ進ムナラバ、到底失敗ヲ免レヌコトハ火ヲ暗ルヨリモ明カデアリマス、第二ノ點ハ高木君モ論及サレタ通リニ、何故一體此度鐵道院ヲ鐵道省ト致シテ、最モ手腕アリ練達ノ鐵道大臣ハ、此席ニ於テ何故水力電氣國有ト云フ大方針ヲ樹立シテ、吾ニ子孫ノ爲メニ進ムベキ道ヲ示サヌカト云フ點デアリマス、何レノ國ニ於テモ、成程鐵道ノ電化ト云フコトハ何所ノ國デモヤッテ居ル、是ト同時ニ鐵道ノ電化ヲヤッテ居ル國ハ、多クハ水力國有ト云フコトモ併セ斷行シテ居ルノデアリマス、瑞典モ其通り、諾威モ其通り、瑞西モ亦其通りデアル、佛蘭西ノ國ト雖モ、百馬力以上ノ水力電氣ハ、之ヲ國營ニスルト云フコトニ致シテ居ル、元ニ物ヲ國營ニスルト云フコトニ就テハ、非常ニ議論ヲ生ズル、英吉利ニ於テサヘモ、改造委員會ニ於テハ、之ヲ國營ニシナケレバナラヌト云フ報告ヲ致シテ居ルノデアリマス、野田述信大臣ハ、國營ニスルコトニハ贊成ダグ、會社ヲ造ラテシマンテ之ヲ買ヘバ宜イ、斯ウ云フ無責仕ナ話デアリマス、將來買フコトガ見エテ居レバ、此際國營ニスルト云フコトハ最モ賢明ナル方針デアリマスマイカ、以上何レノ方面カラ見マシテモ、之ヲ今日半官半民ノ組織ニシ、政府ガ六朱ノ配當デ宜シイト云フノヲ、議院ノ方カラ七朱ノ配當ニシテヤレナド、云フコトハ、一般人民カラ如何ニ吾ニハ疑ハレテモ、致方がナイト云フ状態ニ在ルノデアリマスマイカ、二政府ヨリ出シマシテ半官半民ニシナケレバナラヌト云フ理由、其理由トシテ参考書ヲ吾ニハ貰シテ居ルノデアリマス、ソレニ半官半民ニスベキ理由トシテ掲載サレタモノガ三點アリマス、其一ツノ財政上是ハドウシテモ半官半民ニシナケレバナケレバナラヌ、人民ニ賣ルト云フヤウナ商賣ハ、鐵道院デハ不得手デアル、此三點デアルケレドモ、此三ツノ何レノ點モ悉ク間ニ合セ借家主義デ作テ、後カラ附ケタ理窟デアルト云フコトハ立ロニ分ル、財政ノ點ト申シマスルガ、此問題ガ一億圓ト申シマスケレモ、政府ノ設計書ニ依レバ、七千五百万圓ノタッタ其半額デアリマス、三千七百五十萬圓ニ過ギナイ、現ニ南滿洲鐵道會社ニ於テハ、最近一億ノ社債ヲ募集スルト云デ居ル、政府ノ事業トシテ三千七百五十萬圓万、而モ是ハ今要ルノデナクシテ、大正十五年マデニ要ルノデアリマス、是ガ抑、調達ガ出來ヌト云フコトハドウシテモ受取シテモ、ナイ、今日二十一線ノ今ノ鐵道策デアリマス、是等モ必シモ

急ヲ要スルモノデハナイ、コンナモノデサヘモ、建設費用デ
ガ出来ルノデアルカラ、私ハ財政第之デアルカラ、日本帝國
ノ鐵道ハ三千七百五十万圓ノ金ガ出来ヌト云フコトハ、到
底之ヲ信用シナイノデアリマス、嘘デアルノデアリマス、尤モ
鐵道會計法ノ第二條デ行ケナケレバ、是ハ改メル途モアリ
マス、國家百年ノ大計ニ關スル電力國營ノ問題ニ遭遇シナ
ガラ、三千五百万圓デ彼此言フト云フコトハ、到底財政ノ
手腕ナキ人ノ言フ議論デアル、(拍手)ソレカラ第二ニ鐵道
院ニハ其能力ガ無イ、此文書カラ見ルト云フト、技術家ガ
少ナイトカ、或ハ大臣ガ忙シイトカ云フヤウニ見エルノデアリ
マスガ、是ガ何デアリマスカ、一億圓位井ノ事業ヲスルコトニ
屈托スルヤウデハ、連モ吾々鐵道大臣ヲ信用スルコトハ出
來ナイ、海軍省デモ、陸軍省デモ、何所デモ、一億圓位井ノ
事業ハ朝飯前デアル、吾々ノ最モ信用シ、且ツ崇拜スル元
田君ガ大臣ニナラレテ、三千五百万圓乃至一億圓ノ設計
ヲ、連モ鐵道省デハ出來ナイト言フナラバ、斯ンナ省ハ御止
メニナックタ方ガ宜クハアルマイカ、(拍手)ソレカラ又民間ニ電
力ヲ賣ルコトガ出來ナイト云フノデアリマスガ、元々鐵道省
ノスル事ハ客商賣、現ニ客ヲ乗セテ走ルヤウナ運送業ヲ爲
スモノガ、後日電氣ヲ造ッテ民間ニ販賣スル能力ガ無、イト云
フコトモ受取レナイ、電氣ガ出來タナラバ、民間ニドンヽ
賣タラ宜カラウ、最モムヅカシイノハ、御客ヲ寄セテ彼方此
方ヘ運搬スルノガ一番ムツカシイ、運送業——物品ヲ運送ス
ルニモ、客ヲ一等二等三分ケテ運送スルニモ、是ハ相當ノ技
術ノ要ルモノデアリマスガ、是サヘモ委託サレタ鐵道省ガ、後
日電氣ガ出來過ギテ之ヲ賣ルニハ殿様藝デ出來ヌト云フ
ノハ、連モ信用スルコトガ出來ナイ、以上三點ハドウシテモ
半官半民ノ會社ヲ作フテ、何カ一ツ吾々ノ知ラヌ事ヲオッ始
メテ、旨イコトヲシャウ、此爲ノニハ一ツ理窟ヲ付ケナケレバ
ナラスカラト云フノデ、考ヘテ後カラ附クタ理窟デアルト云フ
コトハ明々白々デアリマス、吾々ハ此疑問ヲ明ニシテ與レ、
バ贊成セヌデモナイガ、斯ノ如キ疑ヲ持テ居ル以上ハ、日本
國民ノ爲メニ、ドウシテモ贊成ガ出來ナイノデアリマス、(拍
手)

〇四

副議長(稻谷義三君) 元田健
(國務大臣元田肇君登壇)

卷之三

官報號外

大正九年七月十七日

衆議院議事速記錄第十三號

株式會社法案 第一讀會ノ續

スルガ、参考書全部ヲ御紹介スレバ、唯今ノ御紹介ハ少シ
違テ居リマス、忙シクテ堪ラヌカラトカ何トカ云フ一寸シタ
言葉デ、非常ニ鐵道省ノコトヲ御話ニナリマシタガ、忙シク
テ堪ラヌカラナント云フ参考書ハ上ダテ居リマセヌ、一々此
處デ私ハ辯駁モ致シマセヌガ、若シ出來得ベクンバ、茲ニ鐵
道省内ニ於テ原動力マヂ悉ク備ヘルコトガ出來マシタナラ
ベ、鐵道ノ當局ト致シマシテハ洵ニ満足ナノアリマス、併
ラバ出來ルカ知リマセヌガ、國家百般ノ經營ニ就テ、財政
ナガラ今日ニ於テ之ヲ望シテ見耳所ガ中ニ出來ナイ、既ニ
省ヲ置キ大臣ヲ置イタラバ、出來又皆ハナイトニコトデ
アルガ、中ニ以テ私如キデナイ、モウ少シ有才人ガ來タナ
マシタラバ、是モシナケレバナラムト云フコトニ就テ多方ノ
經費ヲ要スルコトヲ御述ニニナルデアリマセウ、有ユル方面
ニ於キマシテ、政府ノ施設シナケレバナラヌ事ハ、鐵道ノミニ
アル、滿鐵ノ事モアリマスグ、滿洲方面ノ鐵道ノ經營ヲ論ジ
マシタラバ、是モシナケレバナラムト云フコトニ就テ多方ノ
經費ヲ要スルコトヲ御述ニニナルデアリマセウ、有ユル方面
ニ於キマシテモ、是マデノ既設鐵道ノ改良ヲ致ス、此金ガ中ニ
アル、滿鐵ノ事モアリマスグ、滿洲方面ノ鐵道ノ經營ヲ論ジ
マシタラバ、是モシナケレバナラムト云フコトニ就テ多方ノ
又、皆様モ是ハ望ンデ居ル、既ニ今回ノ豫算ニ於キマシテハ
本線ガ——本鐵道ガ五本、輕便鐵道ガ二十一本出テ居リ
マスルガ、政府當局ト致シマシテハ、非常ナル決心ヲ以テ之
多大デアリマス、又全國モ鐵道ヲ普及サセナケレハナリマセ
ヌ、皆様モ是ハ望ンデ居ル、既ニ今回ノ豫算ニ於キマシテハ
方ニ敷ケト云フ速成ニセヨ、モウ少シ澤山ナ鐵道ヲ諸
レドモ、總テノ鐵道省ニ關スル事業ト云フモノヲ按排致シ
テ居ルヤナ次第デアリマス、斯様ナ場合デアリマスルカラ
マシテ、ソレト適當ノ分野ヲ立て、改善普及ヲスルト云フ
シテ、唯ダ電氣ヲ動力ニ用ギルダケガ目的デアルナラバ、ソレ
ハイカ又カラ、モウ少シ速成ニセヨ、モウ少シ澤山ナ鐵道ヲ諸
コトハ出來マセヌ、鐵道省ニ於テ是ガ出來ルマデハ、然ラバ
ルト云フコトノ、一日モ速ニ實行ノ緒ニ就カシコトヲ政府ハ
投ツテ置ク、ソレデハ何時マデ經ッテモ電化スルコトガ出來ナ
イノデアリマス、是ニ於テ本案ノ如ク致シマシテ、先以テ第
一著ノ計畫ヲ立て、而シテ漸次我ガ鐵道ノ動力ヲ電化ス
何ヤウナ事モ出來マスルガ、政府ニ於キマシテハ、實行ト云
ルト云フコトノ、一日モ早ク其實行ノ成ル
コトヲ希望シテ居ルノデアルヘ拍手起ル、唯ダ理想ヲ述べ、壯大ナ
事ヲ舉ゲテ、如何ニモ尤デアルト云フ評ヲ乞フノナラバ、如
モノハナイ、併ナガラ運用宜シキヲ得レバ、其弊ノ無イコトヲ
如キニ至リマシテハ、外國人ガ來テ國防上ニ大變デアルカ
保ツコトモ出來ルノデアリマス、(拍手起ル)先刻清瀬君デ
アリマスカ、種々ナル注文ニ就テ御議論、其他御話ガゴザ
ス、官民合同ニモ弊ガアリマセウ、何等ノモノデモ弊ノ無イ
モノハナイ、併ナガラ運用宜シキヲ得レバ、其弊ノ無イコトヲ

帝國鐵道電力株式會社法案

第一二讀會（確定議

「異議ナシ」ト呼フ者アリ、
表(柏谷義三君) 別二脚

異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ

第五 麥酒稅法中改正法律案（中西六三）
（郎君外八名提出） 第一讀會
麥酒稅法中改正法律案

麥酒製法中左「道改正」
第一條第三項中「米、玉蜀黍」ノ下ニ「馬鈴薯、澱粉」ヲ
加フ

〔中西六三郎君登壇、拍手起ル〕

中西六三郎君 夢酒稅法中改正法律案ノ提案ノ理由ノ簡單ニ説明致シマス、此法案ノ目的ハ、夢酒ヲ製造ス

原 料 二、馬 鈴 薯 及 濾 粉 ヲ 用 井 ル コトノ途コ開キタイノデアニ
又 卸 承 印ノ通リ 今 日 マテ我國ニ於テ麥 酒ヲ製造致シシ

澱粉又ハ馬鈴薯ヲ此外國米ノ代リニ用ヰマヌルト云

、却て米ヨリハ成績ノ好イト云フコトが確タ外ノテ、最
一於キマシテハ、麥酒釀造ノ總テノ營業者ハ此馬鈴薯

粉ヲ用井ルコトヲ切望致シテ居リマス、麥酒醸造業者が
ノ望ンデ居ルノミナラズ、他ノ一面カラ考へマスト云フト

今我國一於テ耕作サレマスル所ノ馬鈴薯ハ、全國ヲ通ジテ三億四千万貫、勿論此大部分ニ三億二千万貫ハ北海

ノ收穫デアリマスルガ、全國ニ於テ三億四千万貫ノ產出
ナリマス、而シテ是ハ戰爭中濱粉ハ洵ニ高價ニ海外ニ輸

ソレマシタガ、昨今ハ此輪出ガ大方止リマシテ、價格ニ於
甚ダ下落致シテ居ル、然レドモ元來北海道ノ如キ寒き

方、耕作時期ノ短キ地方ニ於テハ、馬鈴薯ノ作付ガ極メ
適當有效ナノデアリマス、隨テ若シ幸ニ足ガ麥酒ノ原料ト

ナルト云フコトデアレバ、北海道ニ於ケル農業ノ上ニ著シキ

效果ガアルバカリデハナク、即チ外國米ヲ用キテ居ルノニ代

ルノデアリマスルカラ、食糧調節ノ上ニ於テモ、亦著シキ效

果ガアルノデアリマス、故ニ他ニ何等ノ支障ナキ限りハ、速ニ

此途ヲ開ケタイト存ジマス、殊ニ之ヲ短期議會ノ今日ニ

提出致シマシタル所以ハ、唯今申上ダタ遇リニ、澱粉ノ外

國輸出ガ止マタガ爲メ、本年ノ如キ北海道ニ於テ耕作シマ

シタル所ノ馬鈴薯澱粉ガ、洵ニ農家ニ於テ其處理ニ窮シテ

居リ、價モ非常ニ下落シテ居リマシテ、均シク他日ノ麥粉

ニ用キル途ヲ開ケ得ルモノアルナラバ、一刻モ早ク其途ヲ

開ケマスレバ、一面ニハ麥酒醸造ノ營業者ガ満足ヲ致シ、一面ニハ北海道ノ農家ノ救濟ト相成リ、産業ノ助長ト相成

リ、同時ニ食料ノ調節ト相成リマシテ、政府トシテハ何等資

本ヲ要スルコトナク、手間モ要ラナイ、簡單明瞭ナル法文ノ

改良其事ガ、直ニ均シク公衆ノ利益ヲ伴ノデアリマスカラ

テ、洵ニ忙シキ短期ノ議會上ニ衆ニ條、斯様ナ事柄ニ就キマシ

テ、幸ニ總テノ點ニ差支ガナイト云フコトナラバ、才刻モ早ク

之ヲ改正致シマシテ、兩院ノ通過ヲ見テ、其實際ノ效果ヲ

良其事ガ、直ニ均シク公衆ノ利益ヲ伴ノデアリマスカラ

テ、洵ニ忙シキ短期ノ議會上ニ衆ニ條、斯様ナ事柄ニ就キマシ

テ、幸ニ總テノ點ニ差支ガナイト云フコトナラバ、才刻モ早ク

セラレントコトヲ望ミマス

○議長（奥繁三郎君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセ

ヌカ

「異議ナシト呼フ者アリ」

○議長（奥繁三郎君） 御異議が無イト認メマス、仍テ動

議ノ如ク決シマシテ、日程第六、軍人恩給法中改正法律

案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者高木正年君

案（賛成ト呼フ者アリ）

第六 軍人恩給法中改正法律案（高木正年君外二名提出）

第一讀會

軍人恩給法中改正法律案

軍人恩給法中左ノ通改正ス

第三十五條中「其軍人現役中ヨリ引續キ同一戸籍内ニ在ル者ニ限リ寡婦ハ尙陸海軍兵籍簿ニ登記シタル者」ヲ「其軍人ト同一戸籍内ニ在ル者ニ改ム」

第二號表中「判任官四等」ノ欄ニ「海軍一等卒」ヲ加ヘ

「卒」ノ欄「陸軍一等卒」ヲ「陸軍三等卒」ヲ改メ

軍三、四、五等卒ニ改メ「海軍一等卒」、「陸軍二等卒」海軍四等卒及「海軍五等卒」ノ欄ヲ削ル

第三號表中「高等官八等」ノ欄ニ准士官ヲ加ヘ「判任官一等」ノ欄「下士」ニ、「判任官二等」ノ欄「卒」ニ改メ

其他「准士官、下士卒」ノ欄ヲ削ル

第四號表中「判任官」ノ欄「二等」ヲ「二等三等四等」ニ改メ「三等」及「四等」ノ欄ヲ削ル

本法ハ大正九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
本法施行ノ際現ニ第一號表、第三號表及第四號表ニ依リ恩給ヲ受ケ又ハ受ケヘキ者ハ本法施行ノ日ヨリ左ノ割合ニ依リ増額支給ス

高等官中親任官ハ 五割
高等官中一等ニ二等ハ 六割
高等官中三等乃至五等ハ 八割

高官六等以下ハ 十割

高官六等以下ハ

本法施行ノ際現ニ第二號表ニ依リ恩給ヲ受ケ又ハ受ケヘキ者ハ本法施行ノ日ヨリ左ノ割合ニ依リ増額支給ス

下士及海軍一等卒ハ 十六割

下士及海軍一等卒ハ

高木正年君登壇拍手起ル

本法施行ノ際現ニ第二號表ニ依リ恩給ヲ受ケ又ハ受ケ當ノ恩給ヲ受ケサル者ニシテ現官相定スル其ノ官相當ノ恩給ヲ給ス

（高木正年君登壇拍手起ル）

○高木正年君 極メテ簡單ニ提出ノ理由ヲ申上ゲマス

軍人恩給法ノ改正ハ、謂ハ、政府ノ提案ヲ待テ暫ク隱忍

ヲ致シテ居タノテス、所ガ過日私ハ政府委員ニ對シテ質問

ヲ致シマシタ通り、此度ノ軍人恩給法ハ、極メテ不條理ナ

ル進級ノ差ニ再ビ此際現出シテ、軍人ノ待遇ニ二様ノ法ヲ

以テスルト云フノガ、ツアリマス、今一ツハ恩給其モノニ

對スル給與トシマシテ、今日ノ增加額ニ於テハ、眞ニ彼等ノ

人ミテシテ、老後ノ生活ヲ保障スルト云フコトハ、到底國防ノ上

テ不可能アリト云フ點此ニ在ルノデアリマス、此際

デアリマスルシ、殊ニ恩給法ハ過日モ近藤君ノ御提出ニナ

タ際ニモ御聽ニナシテ居リマセウガ、唯夕法案ガ近藤君ト違

ヒマスノハ、近藤君ノハ主トシテ扶助料增加恩給ノ二點ニ

止テ居ル、私共同懇ト共ニ提出シマシタ案ハ、軍人恩給ノ一般ニ涉テノ改正案ニナシテ居ル、先ツ進級ノ際ニ於テ、ド

ウ云フ事ヲ救濟致シテ居ルカト申シマスルト、私共ノ案ハ

恩給法ノ改正ヲ現時ノ恩給額ニ於テ進級ノ差ヲ設ケズ、

大將級ニ於テハ五割、中將、少將ニ於テハ六割、佐官級ニ於

テハ八割、尉官級ニ於テハ二十割、下士ノ階級ニ於テハ十六

割、卒ノ階級ニ於テハ二十一割、斯様ナ標準ニ增加シテ參テ、

殊ニ增加恩給ニ就テハ、現在ノ卒、恩給ダ最モ少額ナ金

額ニナシテ居リマシタ爲メニデス、現在ノ卒ニ於テハ、僅ニ年

額六十圓以上ノ給與ヲ受ケナヤウナ狀態ニナシテ居ル、ソレ故ニ此卒ノ今日マテ受ケマシタ階級ヲ引上げテ、判任官

二級ノ所ヘ、此增加恩給ニ就テハ卒ナル者ノ階級ヲ加ヘタ

イ、斯クテ增加恩給ノ下ノ七階級ヲ飛越エテ、六階級ニ此

卒ヲ八レテ、斯様ニシテ總テノ上ニ平準ヲ得ルヤウニナシテ

圓ニナル、百八十圓ニ更ニ二百七十圓ヲ加ヘマスレバ、所謂增加恩給ノ最モ低イ者ニ於テ、四百五十圓ト云フモノヲ得ルコトニナルノデアリマス、私共少クモ此氣ノ毒ナル所ノ增加恩給ニ對シテハ、ドウヤラ家族一人ノ生活ヲ得ルト云フ程度ヲ、今申上ゲル通り基點トシテ此改正案ヲ作シタノデアリマス、其割合ニ就テハ、唯今申上ゲタ通りアリマス、近藤君ノハ、此增加恩給ニ對シテ最下級ヲ千圓トシテアルノデアリマスガ、財政上之ノ多少斟酌シテ四百五十圓ニ止メル、斯様ナ方法ニシテ此法案ヲ出シタノデアリマス、茲ニ一言附加ヘテ置キマスノハ、如何ニシテモ此度ノ政府提案ノ通り新舊ノ差ヲ設ケルト云フコトハ、我國ノ軍紀ノ上ニ就キ者ハ本法施行ノ日ヨリ左ノ割合ニ依リ増額支給ス

藤君ノハ、此增加恩給ニ對シテ最下級ヲ千圓トシテアルノ度、所謂軍事ノ上ニ就キマシテ、近モ今日軍人ノ階級ニ在ル人々ノ士氣ヲ統一スルコトハ出來ナイ、斯ル場合ニ所謂

ルト云ヘバ、一朝勤員ノ行ハレタ時分ニ、我國ハ營ニ在ル所ノ兵ト云フ者ハ僅ニ二十七八万人デアリマス、ドウシテモ豫備若クハ後備ノ勤員ヲ動員スルニ非ゲレバ、一朝事ノアッタ

ル人々ノ士氣ヲ統一スルコトハ出來ナイ、斯ル場合ニ所謂

在郷軍人ヲ召集スル、一方ノ者ハ今度ノ改正案ニ於テ十

割ノ恩給ヲ受ケ、一方ノ者ハ六割七分ノ恩給增加率ニ依

テ給與ヲ受ケテ居ル、斯ル政府ノ同一ニ級フベキ所ノ軍人ノ上ニ於テ所謂差ヲ付ケルト云フコトハ、到底國防ノ上ニ就テ、其士氣ヲ統一シテ、國家有事ノ時ニ、是等ノ人二十

人ミテシテ、老後ノ生活ヲ保障スルト云フコトハ、到底國防ノ上ニ就テ、其士氣ヲ統一シテ、國家有事ノ時ニ、是等ノ人二十

○議長（奥繁三郎君） 岩崎君ノ動議ニ異議アリマセヌカ、
〔「異議ナシ」〕 下呼フ者アリ
○議長（奥繁三郎君） 異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ
如ク決シマシタ、日程第七、仙臺青森間鐵道複線工事速
成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、——提出者北山一郎
君

第七
仙臺青森間鐵道複線工事速成二關

北山一郎君私八仙臺青森間鐵道複線工事速成二
北山郎君登壇招手起凡

○北山一郎君 私ハ仙臺青森間鐵道複線工事速成ニ
關スル建議案ノ理由ヲ説明致シマス、本問題ハ一步ヲ進メ
マシテ申シマスレバ、東京青森間ノ關係デゴザイマスルガ、東
京仙臺間ノ複線工事ハ目下實行ニ著手ヲ致シテ居リマシ
エ、著々トシテ其工事ハ進行致シテ居リマス、然ルニ同ジク
鐵道省ニ於キマシテハ、青森ニ達スル複線ノ方針ヲ執リテ居
リマスルダ、此仙臺青森間ノ工事ニ著手ヲスルト云フコトノ
出來得ナイト云フコトハ、畢竟スルニ政府ノ財政即チ鐵道
豫算ノ都合上、速ニ之ヲ實施スルコトガ出來ヌト云フヤウ
ナ、甚ダ遺憾ナ狀態ニ在ルノニアリマス、併ナカラ「國ノ交
通機關ノ整備ナルモノハ、其國產業ノ狀況ト當ニ相伴ハナ
ケレバナラヌノデゴザイマス、若シ一方ニ於テ產業アリ之シ場
達ヲ爲シ、他ノ一方ニ於テ交通機關ニ缺陷ガアリマシタ場
合ハス、即チ其國家ノ產業ヲ阻害スル結果ヲ呈スルニデゴザ
イマス、今や北日本ニ於ケル膨脹ハ寶々面目ヲ「新致シマ
シテ、即チ東北地方ノ振興ノ状況、北海道ノ發展膨脹、樺太
ノ開發、薩哈連及沿海州ノ事業ノ勃興ト云フ關係カラ致
シマシテ、即チ產業上經濟上ノ理由ガ、此東北本線ノ複線
ト云フモノニ對シテ、此速成ヲ要求致シテ居ルノニアリマス
更ニ又此東北ノ各鐵道ノ連絡關係カラ致シマシテ、此東
北本線ノ幹線ト、ドウ云フ影響ヲ有シテ居ルカト云フコトヲ
考ヘテ見マスルト、唯今現ニ運轉ヲ開始致シテ居リマスルモ
ト、又起工中ニ屬スルモノハ、小牛田新庄間、黒澤尻横
手間、花巻仙人峠間、好摩花輪間ト云フヤウナ、支線若ク

仙臺青森間に起工ヲ致シマシテモ、今後七箇年ヲ要スルト云フヤウナ説明ニナシテ居リマス、而シテ駿羅巴戦争ノ關係カラシテ、既往五箇年間ハ非常ニ貨物モ増大ヨ來シシタガ、併ナガラ此關係ガ燒ミマスルト、七年ノ後ニ於テ現在ニ於シテ約二割ノ増加ヲ來スト云フ見込デアリマス、其際ニナリマスルト云フト、丁度此輸送ト複線ドノ一致ヲ見ルト云フヤウナ説明ガアツサウデアリマスルガ、併ナガラ鐵道省ガ數字ノ上ニハ如何ニ計畫ヲ立テマシテモ、實際ハソレニ伴ハヌノデアル事ニ依リマスト貨物ノ増加ノ爲メニ、周章狼狽スルト云フヤウナ場合ノアルコトハ、是マデノ實例ニ徵シテ明カナ次第デアリマシテ、本員等モ過去十年間ニ於テ、其貨物停滯ノ爲メニ苦キ経験ヲ嘗メテ居ルノデアリマス、斯様ナ譯デアリマシテ、唯今ヨリ著手致シマシテモ、中々此輸送上ノ目的ヲ達シ兼ネルト云フ状況デアリマスルカラ、政府ハ直チニ此方針ヲ實行シテ以テ、是等ノ缺陷ヲ救濟セラレンコトヲ切ニ望ム次第デアリマス、此意味ニ於テ滿場ニ對シテ賛成ヲ希望スル次第デアリマス（拍手スル者アリ）○岩崎勲君　本案ハ議長指名ヲ以テ、特ニ十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス○議長　奥繁三郎君　岩崎君ノ動議ニ異議アリマセヌカ〔「異議ナシト呼フ者アリ」〕○議長　奥繁三郎君　異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

ハ輕便線ガ、現ニ運轉又ハ工事ニ着手ニナツテ居リマス、ソレカラ豫定線ト致シマシテハ、仙臺山形間、盛岡大曲間、ノ戸大館間、是モ政府ノ豫定線トナツテ居リマシテ、今後五ヶ年乃至十ヶ年間ニ、竣工ヲ告ゲルト云フ情況ニナツテ居ルゾデアリマス、是等ノ各線ノ物資輸送ノ關係ハ、何レモ幹線ニ向テ、複線ヲ要求シテ居ルト云フヤウナ現狀デゴザイマス、更ニ又東北ノ他ノ一線タル奥羽線ノ關係ヨリ申シマスレバ、此奥羽線ハ諸君ニ於テモ御承知置カル、通り、板谷峠ノ嶮ヲ控ヘテ居リマシテ、輸送ノ上ニ於テ非常ナル所ノ障碍ヲ有セ居ルノデアリマス、隨テ山形乃至秋田ノ物資ハイ青森ニ逆送シテ以テ、多大ノ運賃ヲ犠牲ニ供シテ居ルト云フヤウナ現状デアルノデアリマス、是等幾多ノ支線、若クハ輕便線ノ連絡ノ關係ハ、此本線ヲ脅シテ居ルト云フヤウナ現状デアルノデアリマス、斯様ニ譯デアリマシテ、產業上ノ理由カラ致シマシテモ、此現在鐵道線路ノ増加セラレタ關係カラ致シマシテモ、此東北本線ノ鐵工事ハ、ドウシテモ速成ヲ致シテ貲ハサケレバナラヌト云フヤウナ、現在ノ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、況ヤ政府ニ於キマシテ、既ニ廣軌鐵道ノ主義ヲ曾ク見合シマシテ、見在ノ狹九敷道ニ改善ヲ加

國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ
關スル法律案(政府提出)

○議長（與繁三郎君）異議ナイト認メマス、仍テ日程ハ
變更セラレマシタ、國債償還資金ノ繰入ヲ爲サナルコトニ
關スル法律案外十一件ヲ議題ニ供シ、其第一讀會ノ續ヲ
開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——井上角五郎君

○議長（奥繁三郎君） 岩崎君ノ日程變更ノ動議二八贊成ガアリマス

大正九年七月十六日
國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコト
ニ關スル法律案委員長
衆議院議長與第三郎殿
井上角五郎
第一讀會ノ續(報告)
事業公債金特別會計法中改正法律案(政
府提出)
一事業公債金特別會計法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

事業公債金特別會計法中改正法律案（政
府提出） 第一讀會（續（委員長）
報告書

一事業公債金特別會計法中改正法律案（政府提出）
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正九年七月十六日

事業公債金特別會計法中改正法律
案委員長

事業公債金特別會計法中改正法律 案委員長 井上角五郎

衆議院議長奥繁三郎殿

ノト、又起工中ニ屬スルモノハ、小牛田新庄間、黒澤尻横
手間、花巻仙人峠間、好磨花輪間ト云フヤウナ、支線若クタ

圓償還スベキモノガアルノデアル、言換ヘレバ約四億万足ラズノモノヲ、大正十四年度末マニニ償還スレバ、外國債ノ償還ハ是デ十分出來ル、然ルニ今政府ガ預金部ニ持テ居ルメテ償還スレバ、内國ニ於テ借替ヘルコトモ出來ルノデアルカラ、其外國公債ヲ償還ノ目途ニ置イテ、以テ拘ヘテ居ル、國際債還資金ノ繰入ハ、之ヲ一時中止スルモ、最初此案ヲ立テタ目的ノ如ク尙ホ財政ノ信用ヲ維持シ、公債ノ時價ヲ維持スルコトガ出來ルノデアルカラ、差支バナイト云フノガ當局ノ説明デゴザイマシタガ、討議ヲ爲スニ方リマシテ、即ハ憲政會ノ一員タル正木委員ヨリ、國庫ニハ剩餘ガアルカラ、彼ノ剩餘金ヲ以テ國防計畫ノ足ラナイ費用ニ充テ、モ宜カラウ、又或ハ彼ノ剩餘金ヲ此繰入ノ方ニ充テ、モ宜カラウ、免何トカシテ或ヘ所得稅ノ増加ヲ今一段多クシタ、但シ詳細ノ意見ハ御述ニナラナカタガ、大要其様ナコトヲ御述ニナシテ御反對ニナリマシタガ、起立ニ問ヒマシタ止スルト云フコトハ、公債政策ノ根本ヲ破ダテ、財政信用ヲ害スルモノデアルカラ、之ニ反對スルト云フ御意見アリマジ、第六條ヲ修正シテ別ニ八條ヲ挿入シテ、且ツ此法律ハ從來事業公債金特別會計法ト稱シテ居タモノフ、公債金特別會計法ト改メルト云フノアリマス、其意味ハ事業公債ノミヲ此特別會計法デ是マニアリマスガ、其第一條、第二條、第六條ヲ修正シテ、別ニ八條ヲ挿入シテ、且ツ此法律結果、多數ヲ以テ可決シタノデゴザイマス、事業公債金特別會計法中改正法律案ト云ヒマスノハ、大正八年三月法律第十五號デ成立シタモノアリマスガ、其第一條、第二條ガ、今後ハ事業公債ナラザルモノヲモ、此特別會計法ヲ以テ整理シタイ例へハ今回制定ニナッタ所ノ道路公債法案ノ如キハ、是ハ事業公債デハナイ、道路公債ヲ募集シテ、政府自ラ其公債ニ依リテ道路ヲ改良シ、若クハ其公債金ヲ府縣郡市ニ分配シテ、其道路ノ改良ヲ補助スルノデアルカラ、事業公債トスベキモノデナシケレドモ、此特別會計法デ整理シタイ、各鐵道國有二關スル國有鐵道ノ公債ハ、即チ是マニ事業公債ト稱シテ居ナカタカラ、此特別會計法デ整理シテ居ナカタカラ、之ヲモ此中デ整理シタノ、要スルニ一切ノ公債臨時軍事費ニ關スル公債トカ、或ハ軍用ニ關スル公債ノ如キモノハ別ニシテ、其他ノモノハ總テ一括シテ整理シタイト云フコトノ爲メニ、事業公債金特別會計トアルノヲ公債特別會計ト改メテ、斯様ニ各條ヲ修正シタノデアリマス、別ニ異議ナク委員會ハ同意ヲ表シテゴザイマスアタ、其條項ヲ改正シタノト、又一ツハ是マニ整理公債條令ト云フモノガゴザイマシテ、明治十九年ニ制定シテ、中々

業公債法中改正法律案、是ハ本年度更ニ一千八百五十
万圓ノ公債ヲ募集スルコトヲ定メマシテ、鐵道建設改正
醫院新營、警察官衙新營、警備電話擴張、監獄改良、鹽
田經營等ト云フヤウ、諸費ニ充テルノアリマス、詳細ハ昨
日決議セラレタル所ノ豫算ニ上シテ居ルノアリマス、此朝
鮮事業公債法中改正法律案ハ、又委員會ノ満場一致ヲ
以テ同意ヲ表セラレマシタガ、之ニ對シテ憲政會ノ委員タ
ル正木照藏君ヨリ、一ノ警告ヲ出サレマシテゴザイマス、唯
今申上ゲル如ク警察官衙ノ新營ト、監獄ノ改良ト、左様ナ
モノハ事業トハ云ヘナイ、事業トハ――正木君ノ言葉ヲ藉
リテ言ヘマスレバ、事業トハ「インダーストリー」ト云フコトデ
アル、サウスベ官衙ノ建築トカ、監獄ノ新營トカ、云フモノ
ヲ之ニ加ヘルモノデナカラウ、故ニ今回ハ同意スルケレドモ、
以後左様ナ事ヲ避ケ、事業公債ト云フモノ、中ニ載セルコ
トノナイヤウニシタイト云フコトガ、正木君ノ警告ヲゴザイマ
シタ、政府當局ハ、是ハ長キ前カラ慣例トナシテ居ツタル事デ
アツテ、正木君ノ言フガ如ク、事業ハ、即チ「インダーストリー」
ト云フ言葉ヲ意味ニテ居ルノアリマス、現ニ臺灣事業公
債法ヲ見テモ、數年前ニ於テ其事業公債ノ中ニ、土地調
査ヲモ計上シタ譯アハアリマセヌト云フコトハ、當局者ノ説明デ
シカシテゴザイマス、此段ヲ特ニ御報告申上ゲテ置キマス、
コザイマスシテ、即チ委員中ノ大島實太郎君ヨリ、正木君
ノ警告ニ對シテ反對ノ說が出マシテ、會議ニ諮リマシタ所
ガ、即チ警告スル必要ナシト云フコトニ、多數ヲ以テ決定致
シマシテゴザイマス、臺灣事業公債法中改正法律案ハ、是ハ本
年度ヨリ千三百七十萬圓ヲ增加シテ、鐵道建築ト、基隆ノ築港ノ費用
ニ充テルト云フノアリマス、樟太事業公債ノ金高ヲ增加シテ居
リマス以上十二件が私共ノ委員會ニ於テ審議調査シタ
所デゴザイマシテ、要スルニ總テ政府案ニ贊成ヲシタ次第ア
ゴザイマス、此段御報告ニ及ビマス（拍手起ル）

○議長（奥繁三郎君） 正木照藏君

（正木照藏君登壇、拍手起ル）

○正木照藏君登壇、拍手起ル

二件ノ中ノ一件ダケニ就キマシテ、意見ヲ持シテ居ルモノア
ゴザイマスカラ、是カラ申述ベルデゴザイマス、先ツ國債償還
資金ノ繰入ヲ爲サルコトニ關スル法律案、之ニ就キマシテ
故ニ特ニ此場合此兩君ノ御希望ヲ、此所デ御紹介ヲ申上
ゲテ、併セテ政府當局ノ参考ニ供シタイト思ヒマス、朝鮮事
業公債法中改正法律案、是ハ本年度更ニ一千八百五十
万圓ノ公債ヲ募集スルコトヲ定メマシテ、鐵道建設改正
醫院新營、警察官衙新營、警備電話擴張、監獄改良、鹽
田經營等ト云フヤウ、諸費ニ充テルノアリマス、詳細ハ昨
日決議セラレタル所ノ豫算ニ上シテ居ルノアリマス、此朝
鮮事業公債法中改正法律案ハ、又委員會ノ満場一致ヲ
以テ同意ヲ表セラレマシタガ、之ニ對シテ憲政會ノ委員タ
ル正木照藏君ヨリ、一ノ警告ヲ出サレマシテゴザイマス、唯
今申上ゲル如ク警察官衙ノ新營ト、監獄ノ改良ト、左様ナ
モノハ事業トハ云ヘナイ、事業トハ――正木君ノ言葉ヲ藉
リテ言ヘマスレバ、事業トハ「インダーストリー」ト云フコトデ
アル、サウスベ官衙ノ建築トカ、監獄ノ新營トカ、云フモノ
ヲ之ニ加ヘルモノデナカラウ、故ニ今回ハ同意スルケレドモ、
以後左様ナ事ヲ避ケ、事業公債ト云フモノ、中ニ載セルコ
トノナイヤウニシタイト云フコトガ、正木君ノ警告ヲゴザイマ
シタ、政府當局ハ、是ハ長キ前カラ慣例トナシテ居ツタル事デ
アツテ、正木君ノ言フガ如ク、事業ハ、即チ「インダーストリー」
ト云フ言葉ヲ意味ニテ居ルノアリマス、現ニ臺灣事業公
債法ヲ見テモ、數年前ニ於テ其事業公債ノ中ニ、土地調
査ヲモ計上シタ譯アハアリマセヌト云フコトハ、當局者ノ説明デ
シカシテゴザイマスシテ、即チ委員中ノ大島實太郎君ヨリ、正木君
ノ警告ニ對シテ反對ノ說が出マシテ、會議ニ諮リマシタ所
ガ、即チ警告スル必要ナシト云フコトニ、多數ヲ以テ決定致
シマシテゴザイマス、臺灣事業公債法中改正法律案ハ、是ハ本
年度ヨリ千三百七十萬圓ヲ增加シテ、鐵道建築ト、基隆ノ築港ノ費用
ニ充テルト云フノアリマス、樟太事業公債ノ金高ヲ增加シテ居
リマス以上十二件が私共ノ委員會ニ於テ審議調査シタ
所デゴザイマシテ、要スルニ總テ政府案ニ贊成ヲシタ次第ア
ゴザイマス、此段御報告ニ及ビマス（拍手起ル）

申述べマス、本案ニ就キマシテハ、私ハ反對ノ意見ヲ有シテ居ルモノ、デゴザイマス、本案ハ頗ル重要ナル案案、ハゴザリマスケレドモ、又同時ニ簡單ナル案案、デゴザイマス、即チ國防充實ノ經費ニ充テルガ爲メニ、減債資金ノ繰入ヲ、四箇年間延バエコストノ出來ルヤウニシテ置クト云フ法律案案アリマス、此減債資金ノ繰入ハ、多年實行致シ來テ居ルノデゴザイマスカラ、之ヲ唯今中止ヲ致シマスルト、自ラ我が國債ノ聲價ノ上ニ影響ヲ及ボシ、又同時ニ是が整理ノ上ニモ、大ナル影響ヲ及ボスモノデゴザイマスカラ、容易ニ中止ナドスベカラザルモノト考ヘラレマス、殊ニ御承知ノ通り、今日ハ我國ノ内國債ハ益々下落シツ、アル、一方ニ於キマシテハ、募集センケレバナラヌ所ノ國債ノ高モ、大變多イヤウナ場合デモゴザイマスカラ、先づ慎重ニシナケレバナラスト考ヘル、萬々已ムヲ得ヌ場合、即チ國家危急ノ場合トカ、或ハ事變ノ勃發シタル場合ニ於テハ已ムヲ得マセヌケレドモ、今日ハ左様ナ時デナイト考ヘテ居リマス、國防費ノ爲メトゴザイマスレド、勿論他に費用トハ違ヒマスクレドモ、ソレニハ大藏大臣モ屢々述べラレマシタ通リニ、的確ナル歳入ヲ要スル、是ハ其的確ナル歳入ト申スコトハ出來マセス、四箇年間減債資金ヲ中止シテ置ク、上云フコトデ、ソレモ中止マルコトガ出來ルト云フコトデ、頗ル不的確ナルモノデアル、尙ホ恰モ公債ニ依ルト申スト同ジ事ニナルノデアリマス、決シテ的確ナル歳入ト申スコトハ出來マセス、若シ之ニ依フナケレバナラヌト云フコトデゴザイマシタナラバ、一方ニ於テハ剩餘金万澤山アル、是ハ大藏省カラ頂戴シテ居リマス所ノ材料ニ依リマシテモ、大正九年度ニ繰越スベキ所ノ金額三億一千七百万圓、ソレヲ色ミニ割當テマシテ、尙ホ大正十年度ヨリ十三年度ニ至ル所ノ歳入ノ不足ヲ補ヒマシテ、尙オ残ダテ居ル、其外ニ經常部ノ收入ガ豫想ヨリ殖エマシタ高ガ、二億二千幾ラト云フモノガゴザイマス、之ヲ以テ流用致シマスレバ、一向差支ナイカト云フコトヲ申シテ、政府ノ意見ヲ質シタニ止ダグノデ、宜イト云フコトヲ申シタト云フコトハ申シマセス、此事ハ正誤致シテ置キマス、斯ウ云フヤウナ性質ノ全ハ、保險ノ掛金ヲ中止スルヤウナモノデ、一旦中止スルト、復舊スルコトハ困難ニアリマス、終ニハ此爲メニ中止致スコトガ續決シテ私ハ所得稅デ取ダラ宜イト云フコトハ申シマセス、キマスルト、我國ノ國債政策ノ根本ヲ破壊スルコトニ相成ルノデゴザイマスカラ、萬々已ムヲ得ヌ場合ヲ除クノ外ハ、中止ナドヲ致シテハイカラモノト私ハ信ジテ居リマス、政府當局者ハ、十四年度ノ末ニ償還ノ期限ノ來ル所ノ國債ニ、コトハ困難ニアリマス、終ニハ此爲メニ中止致スコトガ續決スル途ハ、已ムヲ得ヌ場合ニハ、預金部ノ在外正貨ヲ以テ之ニ充ツレバ、宜イカラ、其點ハ安心シテ、差支ナイマス、ト思フト云フ御説明ガゴザイマシタケレドモ、此減債資金が必ズシモ外國債ノミノ償還ニ充テル資金ト信ジマセス、今日ニ於テハ斯様ナル事ヲスルノハ宜シカラヌ、又少クトモ宜

シイモノトモ思ヒマセ、此點カラ反対ヲ致シバズモノデゴザ
イマス、次ニ此朝鮮事業公債法改正ノコトニ就キマシテハ、
委員長カラ略ボ私ノ申シタコトヲ御紹介下サイマシテゴザ
イマスカ、尙ホ少シク詳シク申述ベテ置キマス、此度増加セ
ントスル八千八百五十万圓ノ内譯ハ、千百万幾ラト云フモ
ノハ鐵道ノ關係、ソレカラ六百五十九万幾ラト云フモノハ
醫院ノ新營費、ソレカラ警察ノ官舍ヲ新營スル所ノ費用ガ
二百五十八万幾ラト、警備電話ノ費用ガ百二万、監獄新營
費ガ、二百万幾ラト、斯ウ云フコトニナラテ居リマス、斯様ナル監
獄トカ、或ハ醫院トカ、警察警備ノ電話等ノ費用ハ、決シテ
事業公債ニ依ルベキモノデゴザイマセス、先例ガアルト申シ
テモ、其先例ハ間違タル先例デアル、必ズ之ヲ襲踏スペキモ
ノデゴザイマセス、殊ニ此度同時ニ大藏省カラ出テ居ル議
案ニ於テ、事業公債ト云フ中ノ「事業」ト云フ字ヲ削テシテ
マッテ、唯ダノ「公債」ニスルト云フ案ガ出テ居リマス、是ハ教
育費ノ如キモノニ關スル公債、或ハ道路ニ關スル公債ノ如
キハ、事業ト謂フベキモノデナイカラ、事業公債トシテ置クト
甚ダ窮屈デ困ルト云フ案ガ、大藏省カラ出サレテ居リマス、
然ラバ此朝鮮事業公債ノ中ニソレニ類スル、或ハソレ以上
ニ性質ノ違タモノヲ含マセテ置クコトハ、政府トシテハ矛盾
シタル話アリマス、斯ノ如キ事ハ、明々白々分リ切シタ事デ
アリマスカラ、政府ニ於テモ今後斯様ナ事ヲ再ビシナヤウ
ニ、御注意アランコトヲ私ハ茲ニ警告旁々、希望致シテ置ク
次第デゴザイマス

○井上角五郎君 唯今ノハ議題ニナラテ、反対ノ御意見ト
シテ御述ニナシテ居ルモノト考ヘマスガ、左様デアリマスカ

○議長(奥繁三郎君) 左様デス

○井上角五郎君 能ク聴取レマセヌケレドモ、本員ハ之ニ
對シテ登壇ヲ求メ、反駁ヲ試ミタイト思ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 然ラバ井上君ノ登壇ヲ許シマス
ス——正木君ノ説ヲ質シテ置キマス、演壇デ御述ニナリマシタ
タトキニ、二案ニ就テ反対デアルト云フ御述ガアリマシタガ
今ノ論旨ヲ聽イテ見マスルト、全ク國債償還資金ノ繰入ヨ
爲サミルコトニ關スル法律案ノミニ就テノ反対デ、朝鮮事
業公債ニ就テハ單ナル警告ト解釋致シマスガ、左様デスカ

○正木照藏君 仰セノ通り

(井上角五郎君登壇)

○井上角五郎君 國積債還資金ノ繰入ヲ爲サミルコト
ニ關スル法律案、此案ハ先刻私が委員長トシテ報告シタル
ガ如ク、要スルニ國防充實ノ經費ヲ支辨スルガ爲メニ、一
時繰入ヲ中止スルト云ニ過ギナインデマリベス、然ルニ之
ニ對シテ、唯今反対ノ議論ヲ聽キマシタ、併シ此案ニ就キマ
シテハ長キ歴史ガアリ、當議場ニ於テモ、屢々討論ヲ闘ハ
レ、即チ其討論ハ第四十二議會ニ於テ、殆ド終結ヲ告グニ
居ルノデアリマスカラ、茲ニ多言ヲ費ス必要モナイト思ウ
アル以上ハ、極メテ簡単ニ其大要ノ歴史ヲ申上ゲテ、諸君
ノ参考ニ供シタ方ガ宜カラウト思フ、即チ日露戰役ノ後ニ

於テ、戦後ノ爲メニ生ジタル公債ヲ整理スルガ爲メニ、當時特別課税ヲ爲シタル其特別課税ヲ廢止スル代ニ、此公債整理ノ爲メニ、年々此金ヲ繰入レルト云フコトヲ決メタノデアリマシテ、一面カラ言へバ、此繰入ヲ中止スル場合ニハ、人民ノ負擔ヲ輕減スル、輕減セズモ、增加シナイ方法ノ爲メニ使ハナケレバナラヌト云フコトヲ意味シ居ル、又一面カラ云ヘバ、國ノ財政ノ信用ヲ保チ、公債ノ時價ヲ落サヌヤウニシナケレバナラヌト云フ意味ヲ持シ居ツダノアリマス、然ルニ其後國民黨ハ鹽專賣法ヲ廢止シ、若クハ通行稅ヲ廢止スルガ爲メニ此繰入ヲ中止シタトイ云フコトヲ、屢々此議會ニ於テ發論セラレテ居ルノアリマス、吾々ハ即チ此金ヲ以テ鹽專賣法ヲ廢止シ、此金ヲ以テ通行稅ヲ廢止スルト云フコトハ、日露戰役當時ノ意思ニ反カザルヲ知シテ居リマスクレドモ、其時ノ狀態一於テ、財政ノ信用ヲ保チ、公債ノ時價ヲ保ツ上ニ於テ、之ヲ廢止スルコトハ出来ナイト云フノ、殘念ナグラ國民黨ノ度ニ提案ニハ反对シテ來タ次第ニアリマス、憲政會ハ大隈内閣ノ當時ニ於テ、當時ハ年々繰入五千万圓ノ金ヲ募ル、左様ナ一方デハ繰入レ、一方デハ借リルト云フ馬鹿ラシイ事ラセズシテ、即チ其三千万圓ニ減ラシタ趣意ト云フモノハ、如何ナル事デアッタカト云ヘバ、即チ鐵道事業ノ爲メニ公債ヲ募ル、一方ニハ減債資金繰入トシテ、年々金ヲ五千万圓ヅ、繰入レテ、一方デハ鐵道デ二千万圓ノ金ヲ募ル、左様ナ一方デハ繰入レ、一方デハ借リルト云フ馬鹿ラシイ事ラセズシテ、即チ其二千万圓ノ繰入ヲ減少シテ、其減少シタダケノ金ヲ鐵道ノ方へ貸シテ、鐵道ノ金ヲ募ラヌコトニスレバ、國ノ信用ノ上ニ於テ同一デハナイカト云フ、議論ヲ以テ、憲政會ハ嘗テ此議場ニ其案ヲ出シ、又之ヲ豫算ニ二大隈内閣ハ組ンデ出シ、議會が解散ニナフテ一度ハ豫算ガ不成立ニナッタガ、更ニ其事ヲ大隈内閣ハ豫算ノ上ニ多數ヲ以テ實行シタノデアリマス、此時吾々ハ憲政會ノ趣意ガ、當初此繰入ヲ爲スコトヲ制定シタキニ、人民ノ負擔ニ關係ヲ持ツベキ費用途ニ使フベキデアルト云フ意見ニ反イテ居ルガ爲メニ、又當時ノ我國ノ狀態ニ於テハ、五千万圓ヲ三千万圓ニ減ラスト云云フコトハ、財政ノ信用ノ上ニ穩當ナラザルモノデアルト思フガ爲メニ、吾々ハ反対シタノアリマス、其後寺内内閣ニ依テ一度ハ復活セラレマシタ、殊ニ貴族院ニ於テ吾々ト同一ノ意見ガ盛ニ行ハレテ、寺内内閣ニ於テハ、三千万圓ノ繰入ヲ大隈内閣が變更シタモノア、更ニ五千万圓ニ復活致シマシタ、其當時寺内内閣ハ國防ヲ充實スルノ必要ヲ感じテ、所得稅其他ノ増稅ヲ行ヒマシタ、所得稅其他ノ増稅ヲ行シテ、國防ノ充實ヲヤル費用ニ供シマシタガ、唯ダ徒ラニ國民ノ負擔ヲ増ス云フ譯ニハ行カナイカラ、即チ五千万圓ノ繰入ヲ三千万圓ニ直シテ、其二千万圓ハ增稅スル代リニ繰入ヲ減少スル、幸ニ戰爭ニ依テ段々正貨ハ我國ニ入シテ來ル、貿易ハ漸クニシテ其金額ノ増加ヲ見テ來タ、是ニ於テ五千万圓ヲ二千万圓ニスルノハ、國ノ信用ノ上ニ於テ左マデノ支障ハナカラウ、サウシテ是ゾ即チ増稅スペキモテ或程度ニ止メテヤルノデアルカラ、當初ノ意思ニ反カヌ

報告書

一關稅定率法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年七月十六日

關稅定率法中改正法律案委員長

指田 義雄

衆議院議長奥繁三郎殿

○指田義雄君 關稅定率法中改正法律案ノ委員會ノ

顧末ヲ御報告申上ゲマス實ハ此委員ニハ他ニ五件付託サレタ法案ガアルノアリマス併シ此五條ハ韓國併合後十年間實行セラレマシタ關稅政策ヲ改廢スル問題アゴ

イマシテ多少ノ審議ノ長引キマスル處ガアルノアリマス而モ唯今議題ニナリマシタ關稅定率法中ノ改正ハ前議會以來ノ懸案ニナツテ居リマスノデ産業保護ノ上カラ取急ギマス必要ガゴザイマス爲メニ特ニ此一案ダケヲ切放シテ

本日決定ヲ致シマシテ直子ニ茲ニ御報告申上ダル次第デゴザイマス本案ノ趣旨ハ戰後我國ニ及ボシマシタル影響ニ刺戟セラレマシテ種々ナル工業ヲ勃興致シタノデゴザイマスガ此工業ノ發達ヲ保護助長致シマスル爲メニハ關稅法ノ關稅定率其他政策ノ按排ニ依ル必要ガアルノアリマス即チ此法案ハ現内閣ノ戰後經營ノ一アル産業政策ノ片鱗トシテ認メ得ベキ重大ナル意味ヲ有シテ居ルト考ヘルノアリマス併シ私ハ此案ノ各品目税率ノ按排其他詳細ナルコトハ前議會ニモ既ニ度々御審議ニ相成シテ當院ヲ通過シテ居リマスルモノゴザイマスカラ是ニ就キマシテノ説明ハ省略致シマシテ總て議案ニ依テ御審查ヲ願ヒ

タイト思フノデゴザイマスカ唯ダ私ハ此改正ノ主義ダケヲ搔掻シテ申上ゲテ置クト云フコトハ此際多少ノ必要カアルカト感スルノアリマス此案ノ改正ノ第一ニハ不當廉賣即チ彼ノ「ダンビング」ヲ如何ニシテ防止スルカト云フ點

ニ關スル規定ガアルノアリマス此不當廉賣ニ就キマシテハ此案ノ條件ト致シマシテハ先づ第一ニ不當ニ廉賣スル

ト云フ事實不當ナル價格ヲ以テ廉賣スルト云フ事實更ニ其不當ナル廉賣ガ我國ノ重要ナル産業ニ危害ヲ與ヘル

虞ノアルト云フコトガ第一ノ條件ト相成シテ居リマス第三ノ條件ハ此事情ニ基イテ不當廉賣調査委員會ノ調査決

定ヲ經ルト云フコトガ第三ノ條件ニ相成シテ居リマスノアリマス此三ツノ條件ヲ備ヘマシタ不當ニ廉賣居リアル場合ニ

於テハ關稅定率ニ依テ定メラレテ居リマス課稅ノ外ニ更ニ其生産費ニ達スル迄ハ適當ノ課稅ヲスルコトガ出來ル

上云フコトヲ以テ先づ此第一ノ「ダンビング」ヲ防止シタイト云フノ目的ニ相成シテ居ルノアリマス、然ルニ政府ハ

稅率ヲ増加致シマシテ即チ從來從量稅ニ相成シテ居リマスノアリマス主トシテ從價三割五分ニ改正ヲ致シマシテ此

外國ノ輸入ヲ多少防ぎマシテサウシ内地製品ノ發達ヲ期スルト云フコトガ第二ノ箇條ニナツテ居ルノアリマス第

三ノ主義ト致シマシテハ我國工業ノ原料タルベキモノハ大體ニ於キマシテ無稅ニスル大體原料品ヲ無稅ニスル斯様

ナ意味ニ於テ規定セラレテアルノアリマス即チ此三ツガ主ナル要點デゴザリマシテ此三ツニ依テ先づ産業保護助

長ノ目的ヲ達セントスルコトニ歸著スルノアリマス更ニ

ニ對シマシテ稅率ノ變更ヲ致シマシテ即チ是ハ稅率ノ權衡ヲ得ルト云フ目的デアルノアリマス是等ノ理由ニ基キ

マシテ本案ヲ提出セラレタモノアリマス然ルニ此産業ノ保護助長ノ目的ヲ以テスル稅率ノ變更ハ茲ニ提案セラレ

テ居リマスル以外ニマダ色々種類ガアルデハナイカ例ハ

曹達工業ノ如キ加里工業ノ如キ或ハ亞鉛鐵其他ノ工業ノ如キ是等モ亦稅率ノ按排ニ依テ是が保護獎勵ヲシナ

ケレバ内地ノ事業ハ行立タナイコトニナルノハアルマイカト云フ意味ニ於ケル委員ノ希望が大方アツノデゴザイマス此點ニ就キマシテ委員會ハ政府ニ對シテ色々ノ質問

應答が繰返ハセラマシテ結局ソレ等ノ問題ニ就キマシテハ一ノ希望決議ヲ致シマシタ此希望決議ニ就キマシテ

ス此點ニ就キマシテ、此希望決議ニ就キマシテ

ノアリマス委員會ハ此誠意アル言明ニ満足致シマシテ此希望決議ヲ附帶條件ト致シマシテ滿場一致ヲ以テ本案ヲ可決スルコトニ相成シテアリマス本會議ニ於テモド

マシテ本案ヲ提出セラレタモノアリマス然ルニ此産業ノ保護助長ノ目的ヲ以テスル稅率ノ變更ハ茲ニ提案セラレ

テ居リマスル以外ニマダ色々種類ガアルデハナイカ例ハ

曹達工業ノ如キ加里工業ノ如キ或ハ亞鉛鐵其他ノ工業ノ如キ是等モ亦稅率ノ按排ニ依テ是が保護獎勵ヲシナ

ケレバ内地ノ事業ハ行立タナイコトニナルノハアルマイカト云フ意味ニ於ケル委員ノ希望が大方アツノデゴザイマス此點ニ就キマシテ委員會ハ政府ニ對シテ色々ノ質問

應答が繰返ハセラマシテ結局ソレ等ノ問題ニ就キマシテハ一ノ希望決議ヲ致シマシタ此希望決議ニ就キマシテ

ス此點ニ就キマシテ、此希望決議ニ就キマシテ

ハ織價、益暴騰ヲ致シマシタシマスノア、織價等ノ値上モサレタノアリマスケレドモ、中々其値上ヲ致シタト云フ

位ノコトデ足リル譯ニ參リマセヌソレ故ニ基金ヲドウシテ

モ増加シテ參ラケレバナラスト云フコトデゴザイマスソレ

カラ委員ノ中カラスウ云フ質問ガ一ツ出マシタ、全體朝鮮

ノ醫院ハ中央部ヲ首メ十六箇所アル、其院長或ハ醫長

ト云フヤウナ人ハ軍人アル、或ハ豫備後備等ノ軍人アル

、軍醫アル、他カラハ此病院ニ就職スルコトガ出來ヌト

云フ話デアルカ、ソレハドウ云フ都合アルカト云フヤウナ

質問ガ出マシタ、所ガ政府委員ノ御答ニハ別ニ意味ノアル

譯デハナイ、併シ中央ノ醫院ノ院長ハ軍醫アル、サウ云フ事

關係カラシテ自然軍醫ノ人ヲ多ク採用スルコトニナクテ居

ルト、ソレカラモウ一ツハ軍醫アルト採用ラスル時分ニ

俸給其他ニ餘程任用スルニ便利ノコトガアル、サウ云フ事

カラシテ多クハ醫長アリハ軍醫ガ入ラルノアルガ、他ニ

意味ノアル譯デモナイ、若シ此法案が通過致シタノ

ラバ或ハカラスルト云フヤウナコトモ出來得ルアル

スウ云フ答辯テゴザイマシタ、其他此法案ニ就テ深ク尋ね

マスコトモゴザイマセヌシ、沟ニ簡單ナル案テゴザイマシタノ

デス、委員會ヲ開キマシタコトハ一回デゴザイマシタガ、審議

ノ末原案ノ通り全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御

報告致シマス(拍手起立)

○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ委員長報告

ノ通リ可決確定セラレムコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

委員長報告通り可決確定致シマシタ

○岩崎勳君 三度議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提

出致シマス即チ茲ニ政府提出大正五年法律第四號中改

正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、

且シ其審議ヲ進メラレムコトヲ希望ミマス

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ日程變更ノ動議ニ異議

アリマセヌカ(異議ナシノ聲起ル)

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(奥繁三郎君) 異議ナイト認メマス、仍テ本案ハ

第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長皆原傳君

大正五年法律第四號中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續ヲ開キマス(拍手起立)

出)

第一讀會ノ續(委員長)(確定議)

報告書

一大正五年法律第四號中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正九年七月十六日

大正五年法律第四號中改正法律案

委員長

(菅原傳君登壇、拍手起立)

菅原 傳

衆議院議長奥繁三郎殿

(菅原傳君登壇、拍手起立)

菅原 傳

第八 野岩羽鐵道完成ニ關スル建議案

(八田宗吉君外二名提出)

野岩羽鐵道完成ニ關スル建議案